設置工事説明書　タカラスタンダード

ガスこんろ［タカラシステムキッチン用］

Si 全口センサー搭載 センサーコンロ

家庭用　ガス機器防火性能評定品

品　番	トッププレートのタイプ	トッププレートの巾	備　考
TAF900WV60C	ハイパーガラスコート	60cm	レンジフード 連動機能付 両面焼グリル

工事される方へおねがい

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになって指定された設置を行ってください。
- 設置工事が終わりましたら、（8 設置工事後の点検確認）のチェックリストに従い、必ず再確認を行ってください。
- 設置終了後は、この「設置工事説明書」を「取扱説明書」とともに必ずお客さまにお渡しください。

目次

② 38-99632 KI

1　安全に正しく設置していただくために

●機器を安全に正しく設置していただくためや、工事される方や使用される方への危害、財産への損害を未然に防ぐため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよくご理解いただいてから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容は、次の絵表示がしてあります。

禁止

必ず行う

分解禁止

換気必要

⚠警告

必ず行う

■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された設置を行う
本書に規定されている設置条件が守られないことにより生じた事故等は保証期間内であっても保証の対象となりませんので、ご注意ください。

必ず行う

■設置は必ず、この「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う
変則的な設置をすると事故や火災の原因となります。

必ず行う

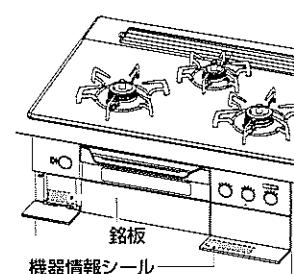
■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です
金属管、金属可とう管、または機器接続ガス栓による機器へのガス配管接続工事・取り外し工事は、液化石油ガス設備士かガス供給事業者の指定工事店などによる有資格者が行ってください。

⚠注意

必ず行う

■この機器は家庭用の調理以外の用途に使用できないため、用途を確認して設置する
火災や不完全燃焼、機器の故障など思わぬ事故の原因になります。

必ず行う

■供給ガスと設置する機器の銘板に表示してあるガスの種類（ガスグループ）が適合していることを確認する
ガスの種類が合っていませんと、火災や不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
銘板は機器前面左側操作部を開いた正面に貼ってあります。
機器情報シールは機器全面右側操作部を開いたパネルに貼ってあります。

⚠注意

分解禁止

■絶対に改造・分解は行わない

設置工事で必要なところ以外は、改造や分解は行わないでください。
一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、機器の故障やガス漏れや火災の原因となるおそれがあります。

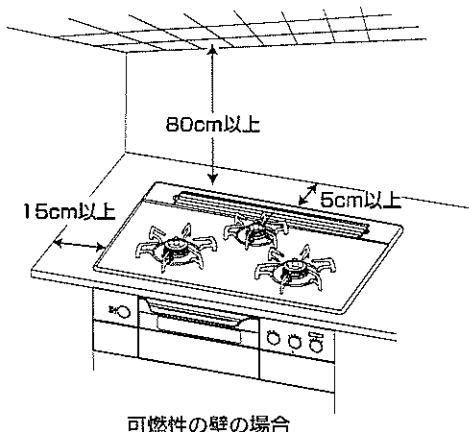
禁止

■この機器は一般家庭用です

業務用として使用しないでください。機器の寿命が極端に短くなります。

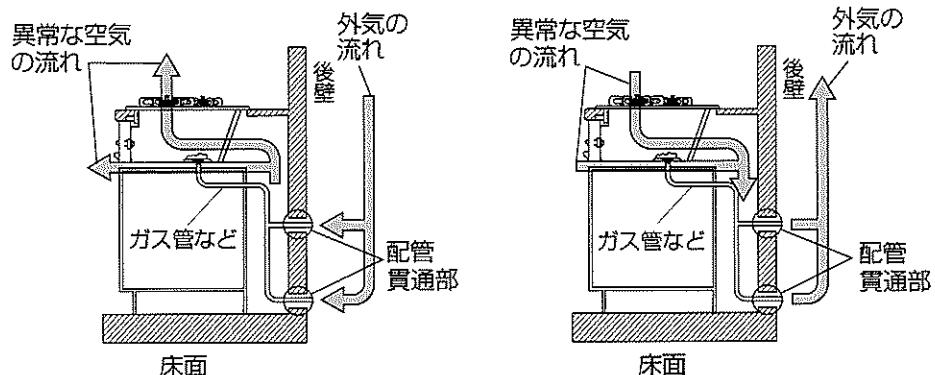
必ず行う

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例により、機器周囲の可燃物からの距離が定められています。可燃物からの離隔距離については、(4 設置場所の確認)に従ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導がよいため長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

可燃性の壁の場合

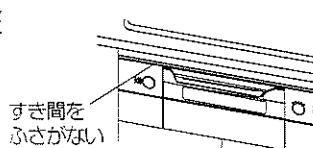
必ず行う

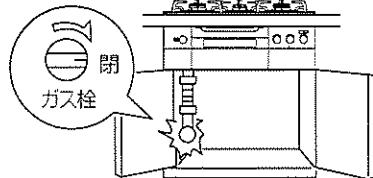
■キャビネット後壁の配管貫通部の確認

ガス管などの配管貫通部があると、屋外と室内の空気がつながり異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり火が消えたりすることがあります。このような現象をなくすため、配管貫通部をふさいでください。ふさげない場合は、機器の後方をふさいでください。

禁止

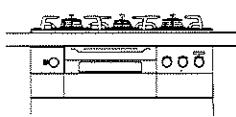
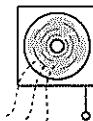
■ワークトップの前面部と機器本体上面とのすき間を化粧板などでふさがないでください

不完全燃焼の原因となります。

⚠注意

■設置後、必ずガス栓を閉める

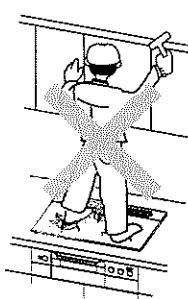
機器のガス栓は機器下方、またはキャビネット内にあります。ガス事故防止のため、必ず行ってください。

■十分な換気設備がある場所に設置する

この機器はレンジフードファンや換気扇などでの換気が必要です。

設置するガス機器および同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。

ただし、室内給気式（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンなどを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるため、注意が必要です。

■機器の上に乗らない

トッププレートが破損し、非常に危険です。

トッププレートに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけたりしないでください。トッププレートの変形、破損の原因となります。

■工事内容に応じた安全策を講じて作業を行う

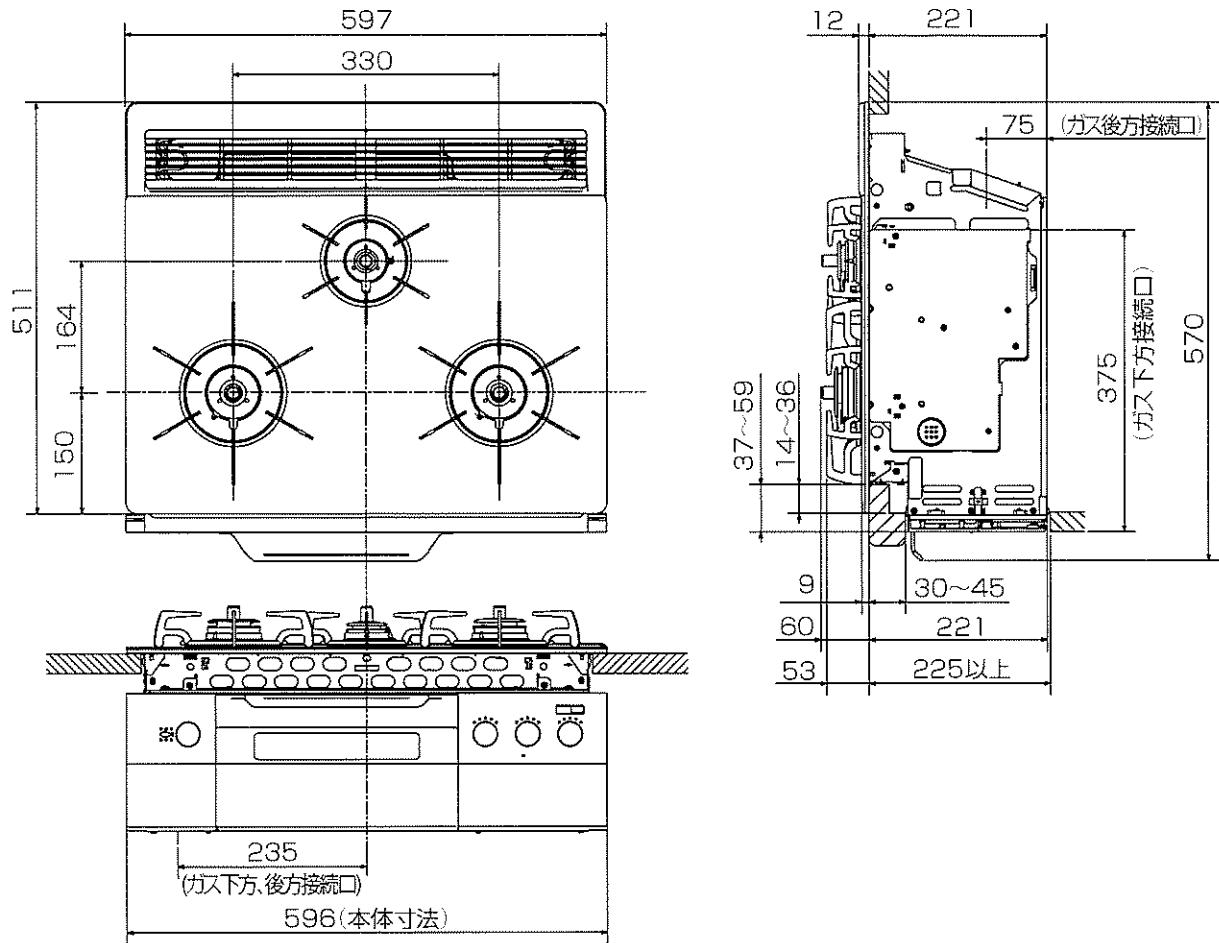
けが防止のため、手袋を着用し作業を行ってください。

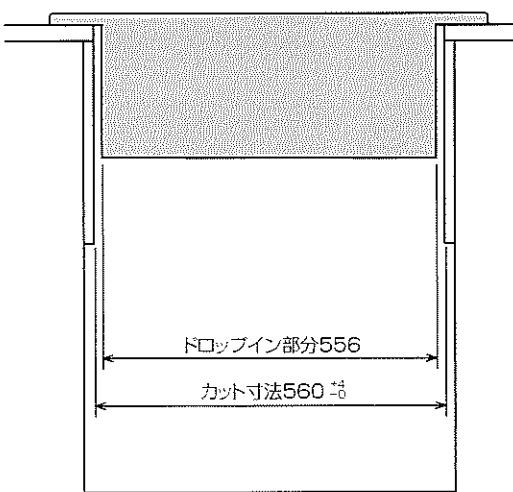
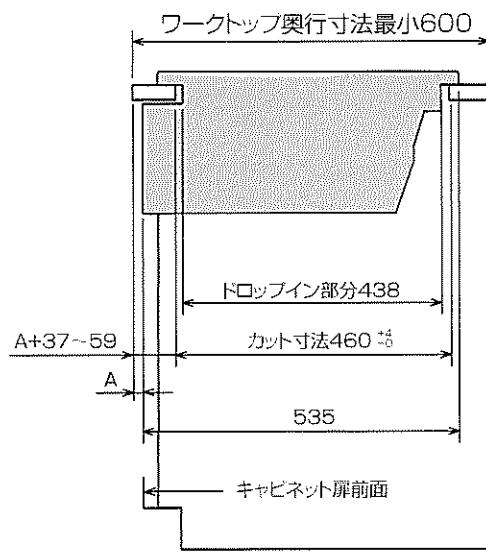
工事内容に応じて安全靴・安全帽などの安全策を講じてください。

お願い　この機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になります。

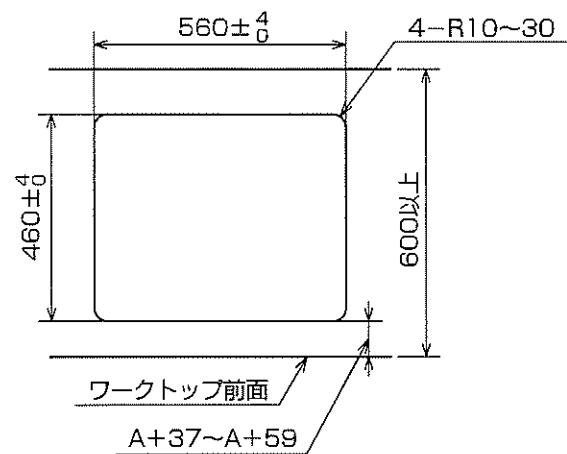
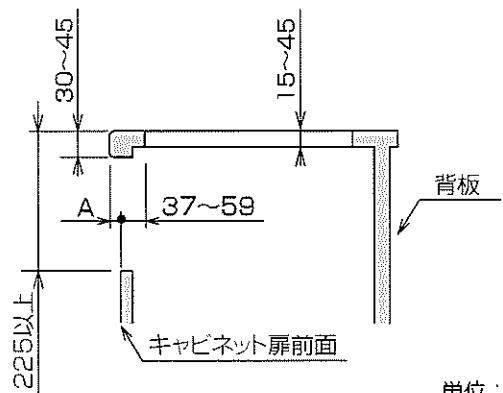
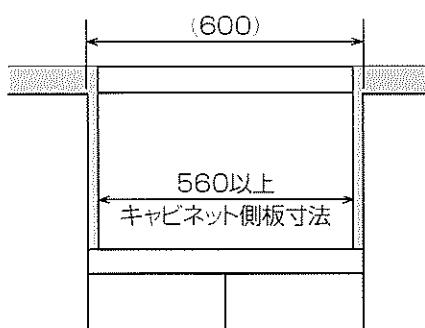
2 寸法図

（単位：mm）

■ 外形寸法図

■ 設置納まり図

正面図

側面図

※ワークトップの開口位置寸法はA+37～A+59の範囲で設置できます。

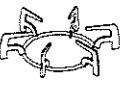
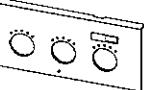
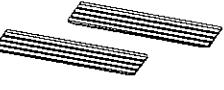
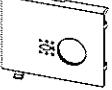
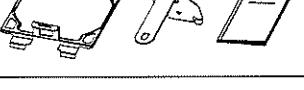
■ ワークトップおよびキャビネットに組み込む寸法

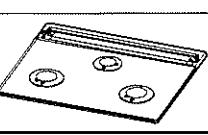
●ワークトップの開口寸法は、下図の寸法です。機器を取り付ける前に確認してください。
●ワークトップの開口寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。
●ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・6903）、またはこれと同等以上の材料をお使いください。
●ワークトップの表面がニス引きのものは変色するおそれがあるので使用しないでください。
●ワークトップの奥行は600mm以上必要です。

※設置フリータイプですので、ワークトップの開口（穴あけ）位置寸法は、A+37〜A+59の範囲で設置できます。

単位：mm

3　設置前のご注意

■　同梱部品の確認

●次の部品が同梱されています。不足のないことを確認してください。

部品名	個数	備考	部品名	個数	備考
ごとく(大)	2		モール	2	
ごとく(小)	1		コンロ操作部パネル(下)	1	
バーナキャップ(大)	2		グリル操作部パネル(下)	1	
バーナキャップ(小)	1		コンロパネル(上)	1	
グリル排気口カバー	2		グリルパネル(上)	1	
グリルサイドカバー	2		取扱説明書	1	
排気口ちり受け	1		設置工事説明書	1	
グリル受け皿	1		料理ブック	1	
グリル焼網	1		アルカリ乾電池単1形	2	
グリル焼網台	1		クッキングプレート	1	
スライド軸ハンドル	1				

■　別梱部品の確認

部品名	個数	備考	部品名	個数	備考
トッププレート	1		ねじ	2	(トッププレート固定用)

4 設置場所の確認

機器を設置する場所には、建築基準法、ガス事業法、液化石油ガス法および各地の火災予防条例上、以下の制約がありますので、それぞれに適合した場所に設置してあることをご確認ください。

●火災予防条例により、機器周囲の可燃物（ステンレス板やタイルなどを貼り付けた可燃性の壁も含む）から機器のトッププレートより上の側方は15cm以上、後方は5cm以上、上方は80cm以上離してください。（下図参照）

（注）ステンレス板やタイルなどを可燃性の壁に直接貼り付けた場合にも伝熱がよいため、長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがありますので必ずお守りください。なお、図の離隔距離で安全性は確認してありますが、所轄の消防署の指示する火災予防上安全な距離を保ち設置してください。

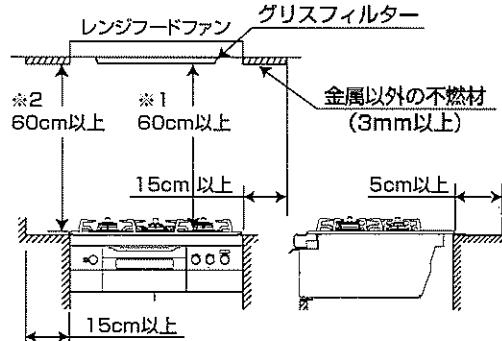
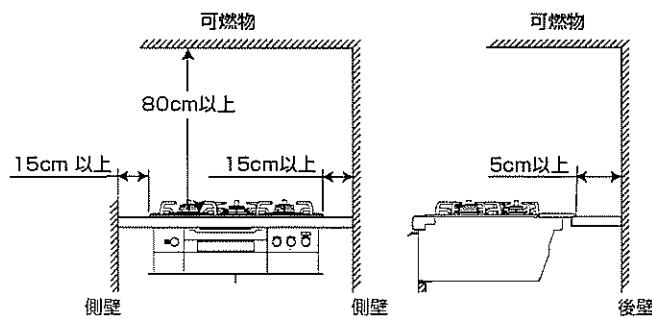
以上の離隔距離を守れない場合は、別売の防熱板A、Bまたは金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を下図のように取り付けてください。

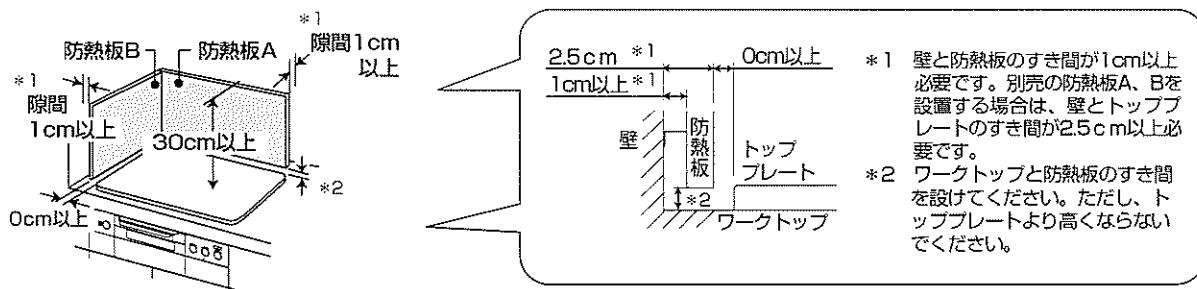
※別売の防熱板A、Bを壁に設置する場合は、壁とトッププレートとの隙間が2.5cm必要で、取付方法は壁にネジ止めとなります。

●コンビネーションレンジ等とセットで設置する場合、コンビネーションレンジ等に同梱されている「設置工事説明書」を参照し、トッププレートから後方の可燃物との距離を確認し、ビルトインコンロとコンビネーションレンジ等の両方を満足する距離を確保して、設置してください。

●可燃物からの離隔距離（cm）

上方	側方	前方	後方
80以上	15以上	15以上	5以上

●上方周辺をレンジフードファンおよび不燃材で防火措置を取った場合

※1　レンジフードファン以外の場合は、80cm以上。
※2　不燃材がない場合、もしくは金属以外の不燃材3mm未満は、80cm以上。

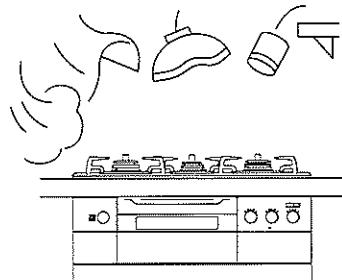
●周囲の防火措置

⚠ 注意

必ず行う

- 設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談してください。
- 燃焼機器は設置する場所には、建築基準法や火災予防条例に定める防火措置を施す必要があります。
- この機器を設置する台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 指定の防熱板を必ず使用してください。
- 車両・船舶には設置しないでください。
- 十分に換気のできるところに設置してください。
- 機器に水がかかる場所や耐久性などの点から湿気の多い場所には設置しないでください。
- 機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かないようにしてください。
- 保守メンテナンスをする場所が確保されていることを確認してください。
  設置後にトラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたすことがあります。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着材など）や、業務用薬品（アンモニア・硫黄・塩素・エチレン化合物・酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しないでください。
- 機器設置時は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置してください。

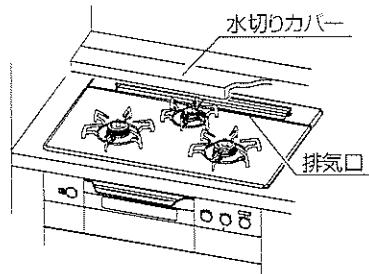
禁止

- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しないでください。
- 強い風の吹き込む場所に設置しないでください。点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しくはたらかないことがあります。
- 棚の下など落下物のある場所には設置しないでください。
  落下物に引火して火災となることがあります。

風・落下物のある場所

禁止

- 機器の排気口をステンレスの水切りカバーなどで塞がないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因となります。

5 ガス配管工事

⚠警告

必ず行う

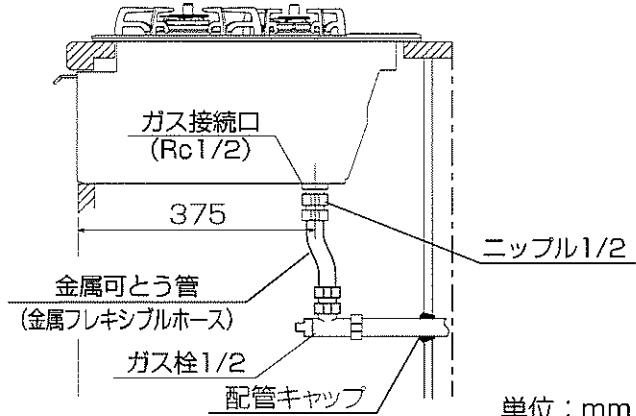
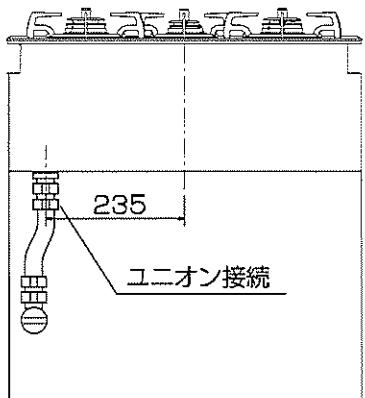
■ガス配管接続には、専門の資格・技術が必要です
接続工事・取り外し工事は必ず有資格者が行ってください。

必ず行う

●接続の際はガスシール材を必ず使用してください。
●ガス栓を必ず取り付けてください。
●接続完了後、ガス漏れのないことを確認してください。
●ガス接続は、金属管、金属可とう管、または機器接続ガス栓で接続してください。
●ガス配管と機器の接続口は、中心を合わせて接続してください。
以上を守りませんと、ガス漏れや火災、機器が破損することがあります。

◆コンロのガス接続方法
●機器のガス配管接続径は、Rc1/2（PT1/2めねじ）です。
●金属管を用いて施工する場合は、機器とガス配管の接続は、必ず金属可とう管接続にしてください。
●配管工事完了後、ガス漏れのないことを確認してください。

〈配管例図〉

必ず行う

単位：mm

◆ビルトインコンロとコンビネーションレンジ等をセットで設置する場合のガス接続方法と電気配線工事
●ガス接続方法、電気配線工事は、コンビネーションレンジ等に同梱されている「設置工事説明書」に従い行ってください。
●ビルトインコンロとコンビネーションレンジ等との組み合わせ工事については、
（7 コンビネーションレンジ等との組み合わせ設置）を参照してください。

6　機器の設置

■　開梱・機器の取り出し

⚠注意

必ず行う

■機器を設置する際には必ず手袋をする

■機器の取り出しは施工用手かけを持って行う

施工用手かけを持たずに上部枠やガス配管、バーナなどを持って機器を持ち上げないでください。トッププレートの浮きやキャビネット内への水漏れ、燃焼不良などの原因になります。

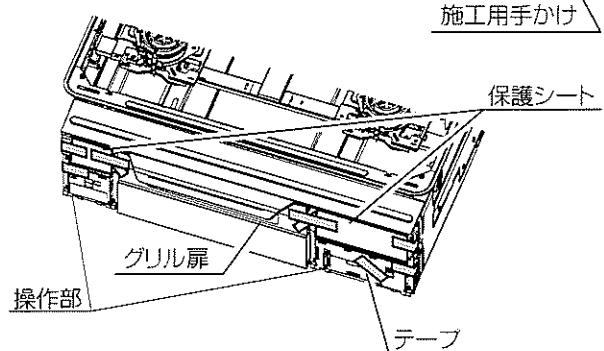
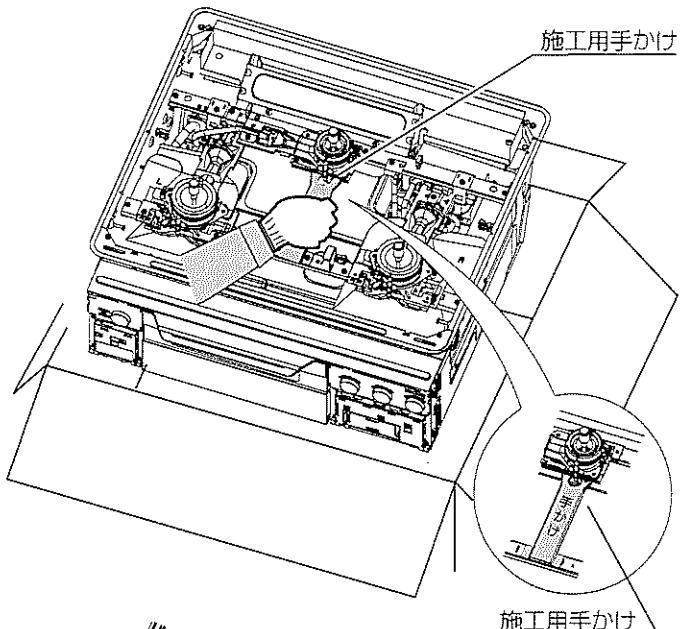
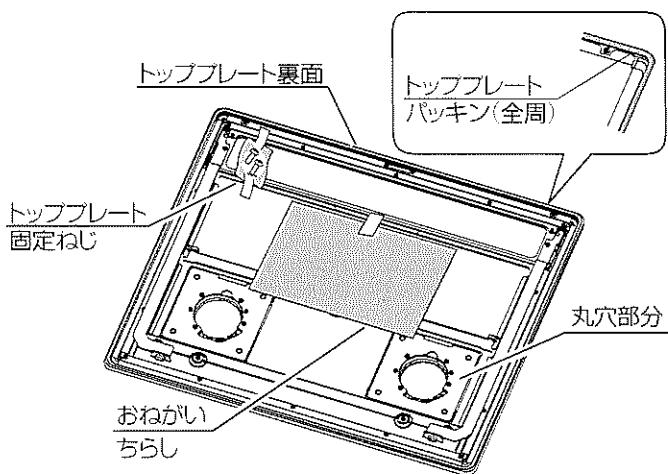
①開梱して機器を取り出してください。

●輸送のため、各部品に包装部材がありますので、全部取り除いてください。

●トッププレートを取り出す際、トップブレート全周にパッキンが貼り付けてありますので、パッキンの部分を持たないようにしてください。
パッキンのズレ、剥がれなどにより、キャビネット内への水漏れの原因となります。

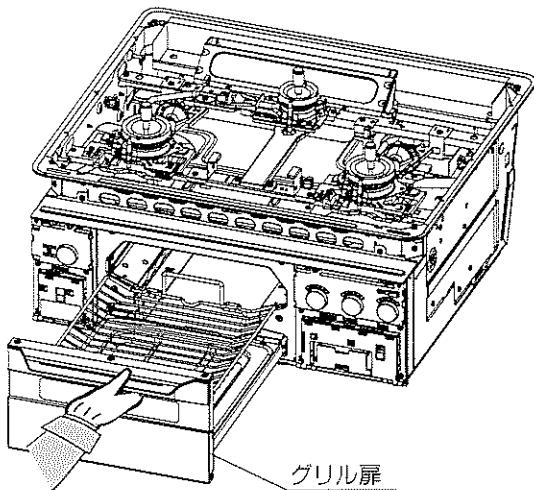
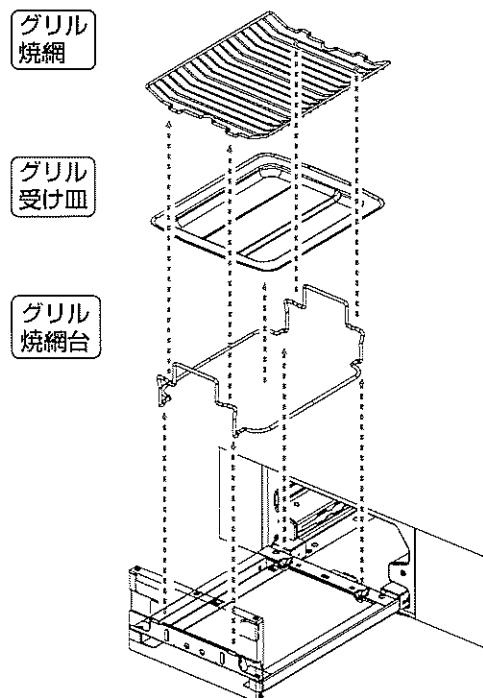
●トップブレートの裏面に、トップブレート固定ねじ（2本）とおねがいちらしがテープで貼り付けてありますので確認の上取り外してください。

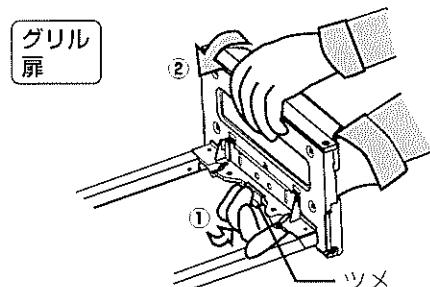
※取り外したトップブレート固定ねじは、17ページの■トップブレートの取り付け⑤で再度取り付けします。

②点火ボタン部分に貼り付けてある保護シートとグリル扉や操作部に貼り付けてあるテープをはがしてください。

■ グリル部品の取り外し

●13ページの■コンロの設置を行うため、下記の手順に従ってグリル部品を取り外してください。

◆グリル焼網・受け皿・焼網台の取り外し

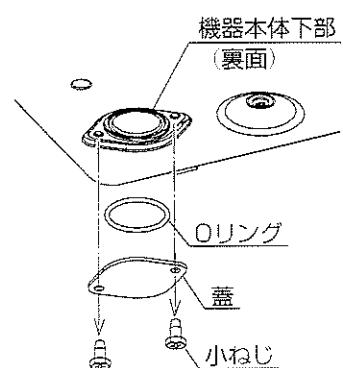
●グリル焼網とグリル受け皿とグリル焼網台を取り外してください。
取り外し時に、包装部材も全て取り外してください。

◆グリル扉の取り外し

①グリル扉のツメを下方向に押し下げてください。
②グリル扉を内側に倒してください。

■ ビルトインコンロ単独設置用のガス接続口蓋の取り外し

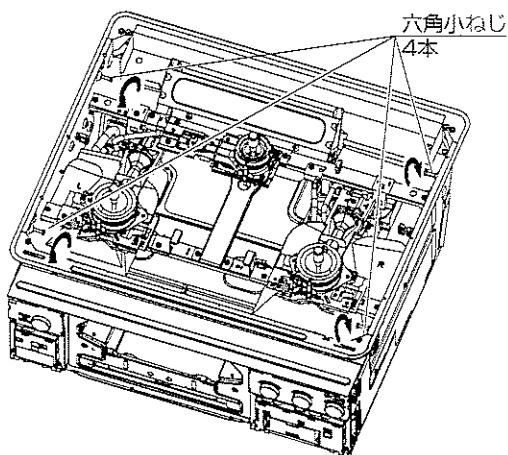
●機器本体下部（裏面）のガス接続口蓋の小ねじ2本を外して、蓋とOリングを取り外してください。
※取り外した蓋とOリングは再使用しないため、処分してください。

⚠注意

■コンビネーションレンジ等を接続する場合は、ガス接続口蓋を取り外さない
機器本体下部（裏面）のガス接続口が開いたままになるため、ガス漏れの原因になります。

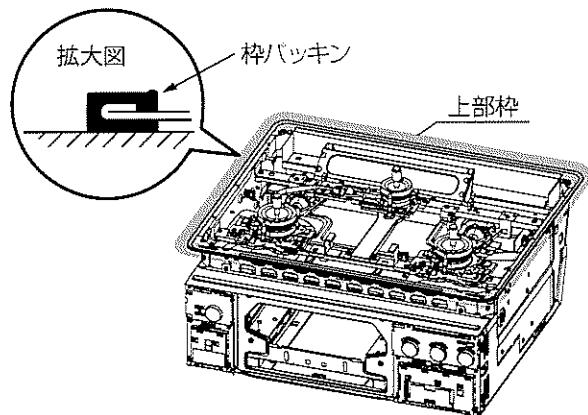
■機器設置とガス配管接続工事を同時に行わない場合は、機器設置時はガス接続口蓋を外さない
ガス接続口にほこりや異物が入るため、ガスのつまりやガス漏れの原因になります。

■ コンロの設置

①ワークトップに入れる前に機器の内側面に付いている六角小ねじ（4本）がワークトップに当たらない程度にゆるめてください。
<使用工具>
プラスドライバー、スパナ（呼び7）、ペンチ
※工具を使用する場合は、バーナなどの部品に傷をつけないようにしてください。

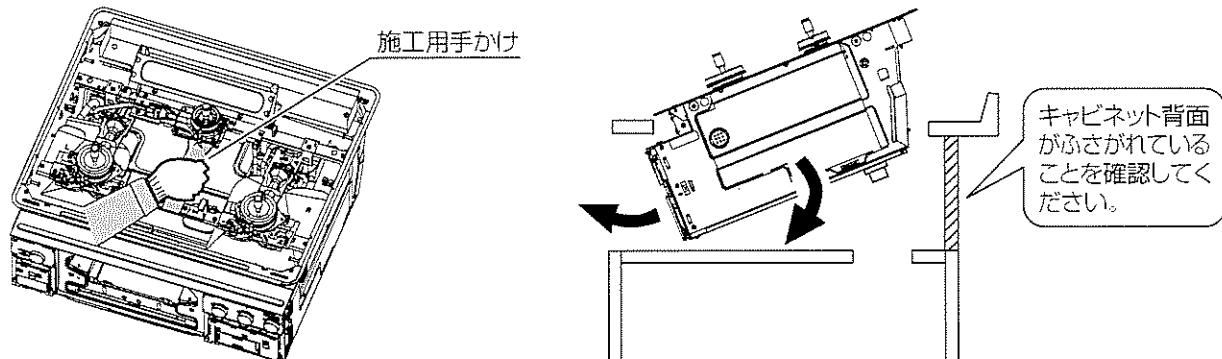
⚠注意

必ず行う

■ビルトインコンロをワークトップに組みこむ前に、次のことを確認する

●キャビネット後壁の配管貫通部または機器の後方をふさいでください。
3ページの（1 安全に正しく設置していただくために）■キャビネット後壁の配管貫通部の確認を参照してください。

●枠パッキンが本体から外れていないか確認してください。
外れている場合は、枠パッキンを上部枠に沿わせて、拡大図のように取り付けてください。

②ビルトインコンロをワークトップに組み込んでください。

施工用手かけ部分を持ち、機器前面を先に挿入して、操作部・グリルなどに傷がつかないように注意しながら、ビルトインコンロを組み込んでください。

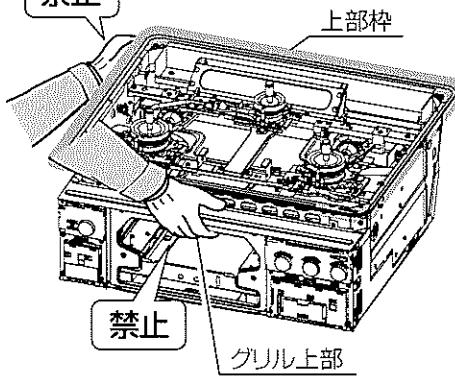
他の位置に手をかけますと、機器が変形し、トッププレートの浮き上がりや破損の原因となります。

⚠注意

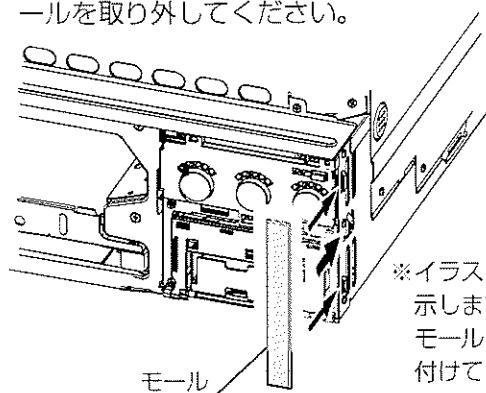
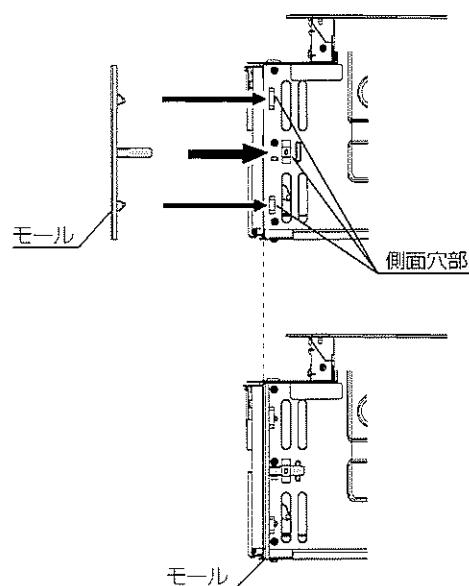
必ず行う

■機器の組み込みは施工用手かけを持って行う

禁止

■機器の組み込みは施工用手かけ以外を持たない

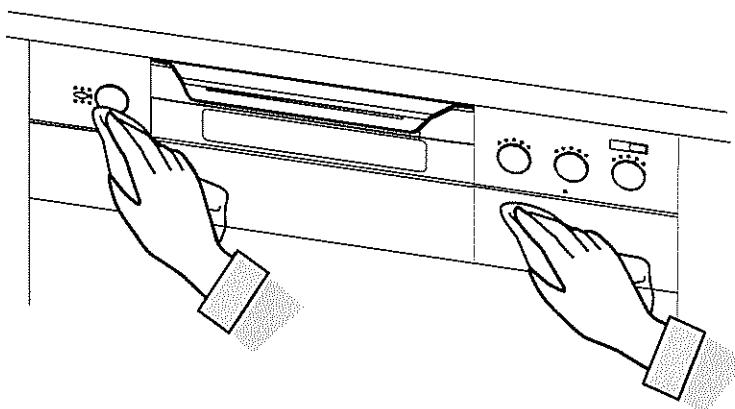
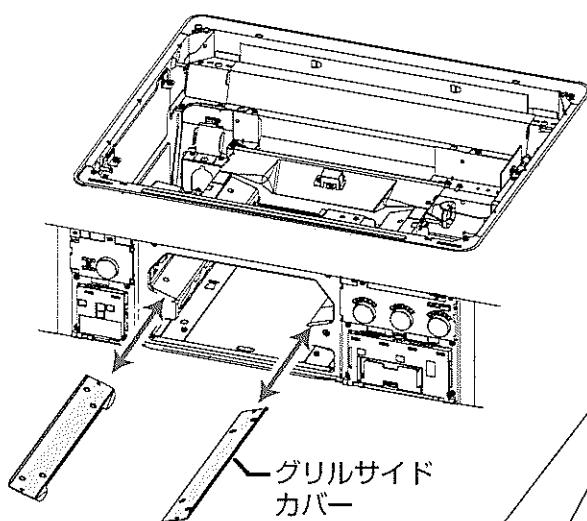
施工用手かけを持たずに、グリル上部・上部枠・ガス配管・バーナなどを持って組み込まないでください。
トッププレートの浮きや、キャビネット内への水漏れ、燃焼不良などの原因になります。

■ モールの取り付け

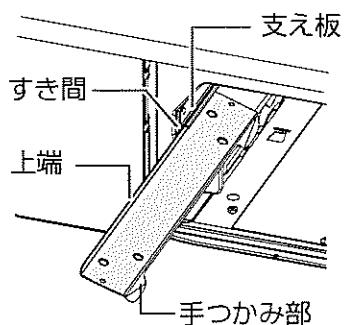
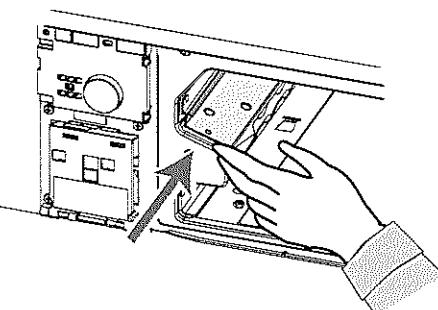
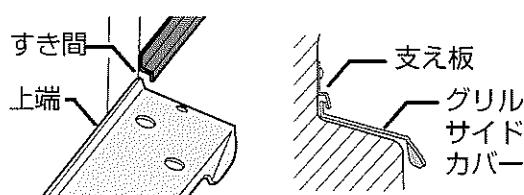
モールは左右共通です。
モールを機器の正面から、側面穴部に差し込み取り付けてください。
※モールを取り外す場合は、モールの側面や下面のキャビネット扉等を開けてすき間を作り、モールを取り外してください。

※イラストはモール（右側）を示します。
モール（左側）も同様に取り付けてください。

取り付けかた

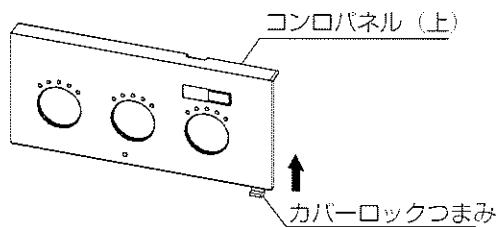
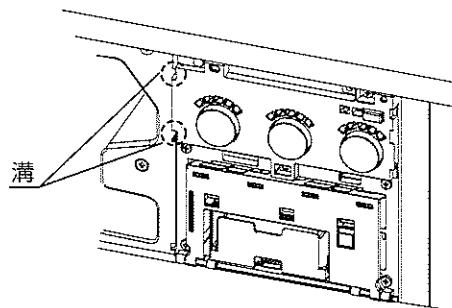
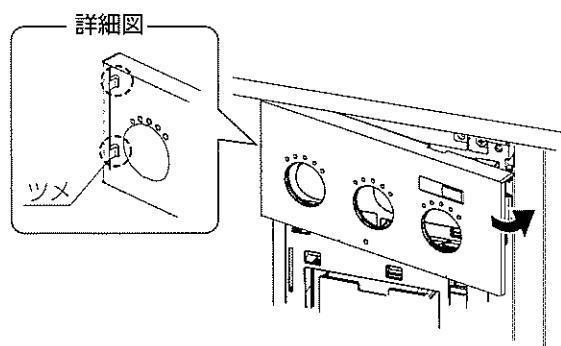
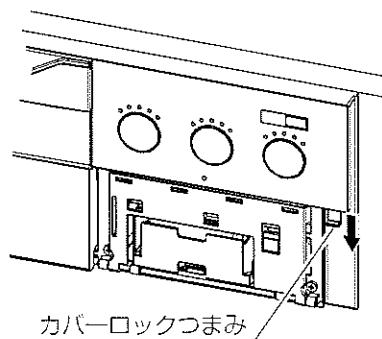
■ パネルの取り付け・グリルサイドカバーの取り付け

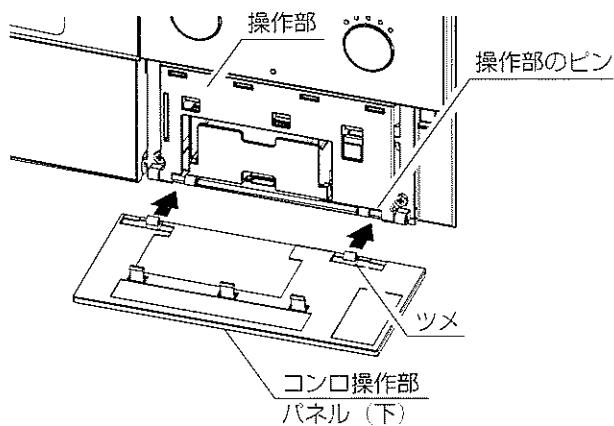
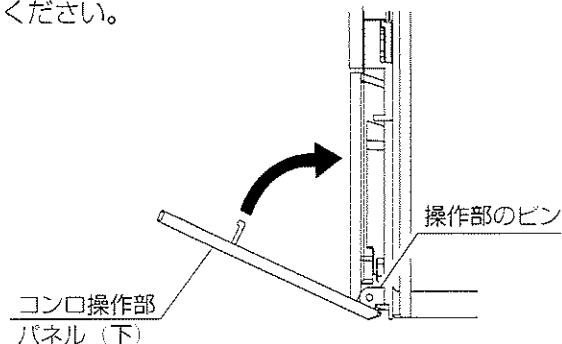
おねがい

グリル扉表面とパネル・操作ボタンに貼り付けてある保護シートはビルトインコンロ設置後取り外してください。
保護シートを取り外した後、布などのやわらかいもので汚れをふきとってください。

●グリルサイドカバーは下記に従い、取り付けてください。

取り付けかた

●グリルサイドカバーは左右共通です。
①グリルサイドカバーの上端を支え板の後ろのすき間に差し込む

②支え板にそって奥までスライドさせる
●浮きや傾きがないように取り付けてください。

●パネルの取り付け
コンロパネル（上）とグリルパネル（上）を先に取り付けてください。

◆パネル（上）の取り付け

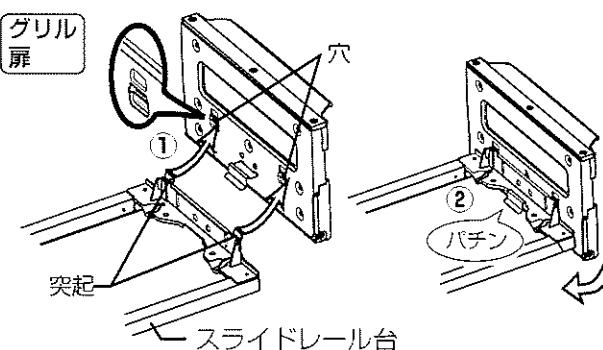
①パネルのカバーロックつまみが上に上がっていることを確認してください。上に上がっていないと、パネルの取り付けができません。

②機器本体の内側の溝（2か所）にパネル裏面のツメを差し込みます。

③パネル上を矢印の方向に奥まで押し込んでください。

④パネルのカバーロックつまみを下にカチッカチッと音がするまで下げてください。
＊図はコンロパネル（上）を示します。
左側のグリルパネル（上）も上記同様に取り付けてください。

◆パネル（下）の取り付け

②機器本体操作部のピンにパネル（下）裏面のツメをカチッとなるまで押し込みます。

③パネル（下）を矢印の方向にゆっくり回転させて操作部に差し込んでください。
※操作部を強く押し込むと破損するおそれがあります。
※取り付け後、操作部の動きを確認してください。
動きが重かったり、引っかかりのあるときはコンロ操作部パネル（下）のツメがしっかりはまっていないことが考えられます。その場合は、取り付けをやり直してください。
＊図はコンロ操作部パネル（下）を示します。
グリル操作部パネル（下）も上記同様に取り付けてください。

■ グリル部品の取り付け

◆グリル扉の取り付け

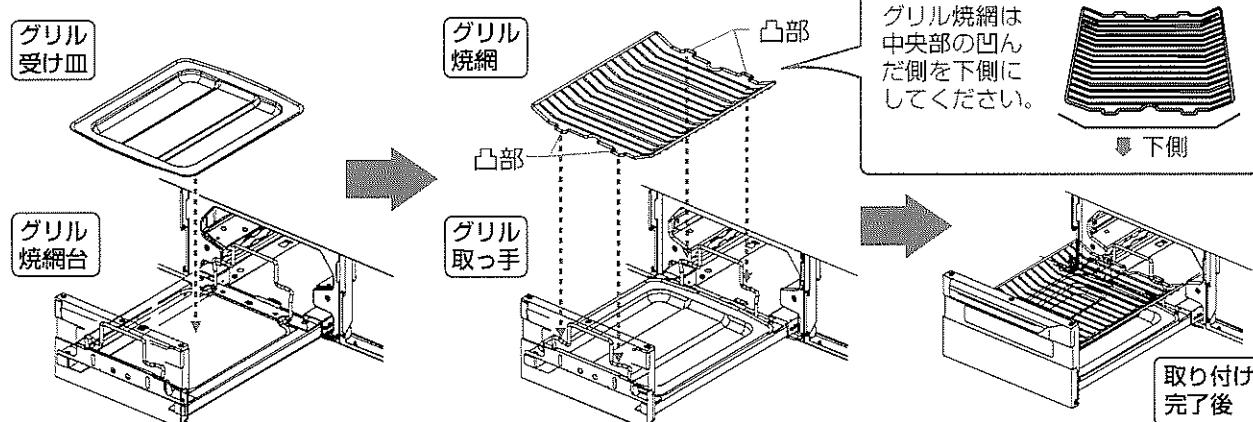
①グリル扉の穴にスライドレール台の突起をはめ込む。

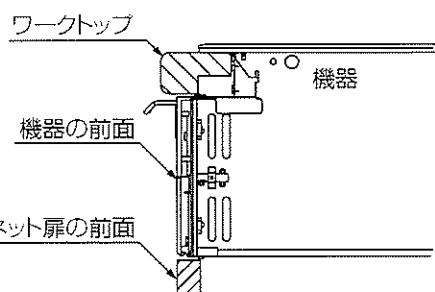
②グリル扉をおこす。

　パチンと音がしたらスライドレール台にはまります。

◆グリル焼網・受け皿・焼網台の取り外し

①グリル受け皿をグリル焼網台の上にしっかりのせる。

②グリル焼網台の上にグリル焼網の凸部をあわせてのせる。

③取り付け完了後、グリルを閉めてください。

■ コンロの固定

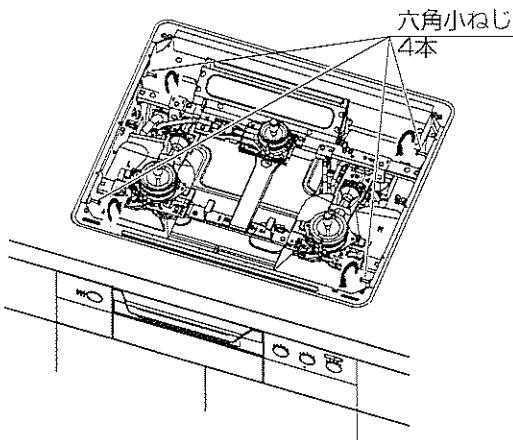
①キャビネット扉前面と機器の前面を合わせてください。

②13ページの■コンロの設置①でゆるめた六角小ねじ（4本）でワークトップへ機器が動かない程度に固定してください。

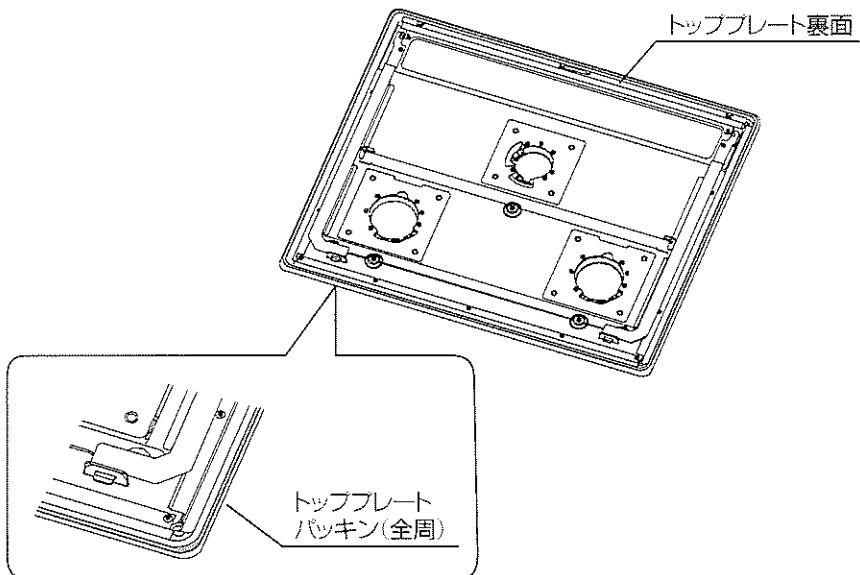
六角小ねじを固定する際、機器が片側に寄らないように左右交互に締め付けてください。

強く締めすぎると、ワークトップを壊したり、機器本体が変形するおそれがあります。

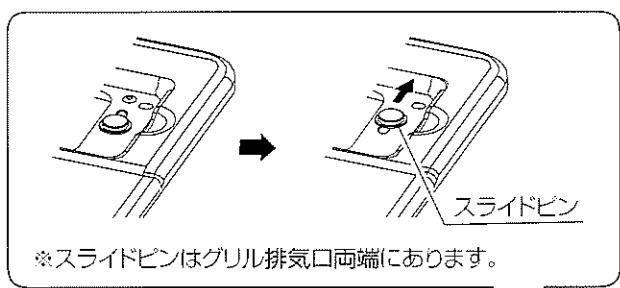
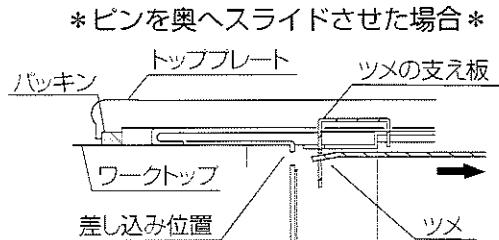
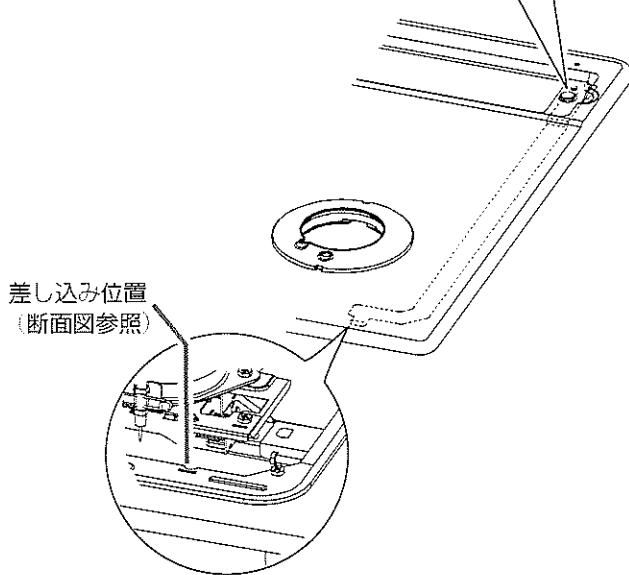
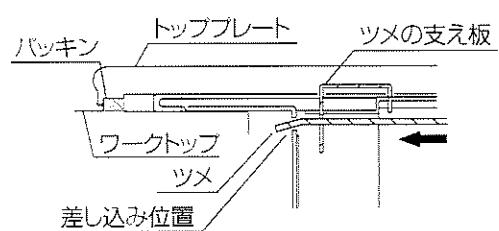
<使用工具>

プラスドライバー、スパナ（呼び7）、ペンチ

※工具を使用する場合は、バーナなどの部品に傷をつけないようにしてください。

■ トップププレートの取り付け

①トッププレート裏面にパッキンが全周正しく装着されていることを確認してください。

②本体に取り付ける前にトッププレート固定用のツメの位置を合わせます。
グリル排気口両端の、スライドピンを奥までスライドさせてください。（右図参照）
スライドさせると、ツメが動きます。（下図参照）

※ピンをスライドさせる場合は同梱のスライド軸ハンドルを使用してください。

＊ピンを奥へスライドさせた場合＊

＊ピンを手前にスライドさせた場合＊

③トッププレートを取り付けます。
点火プラグをバーナリングの穴へ通すように取り付けてください。

バーナリング
立消え安全装置
点火プラグ
立消え安全装置
点火プラグ

⚠注意

必ず行う

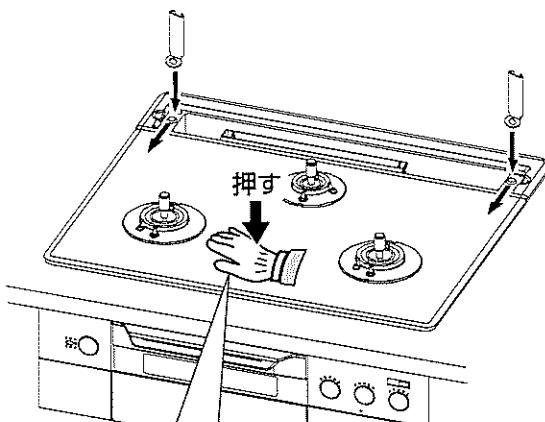
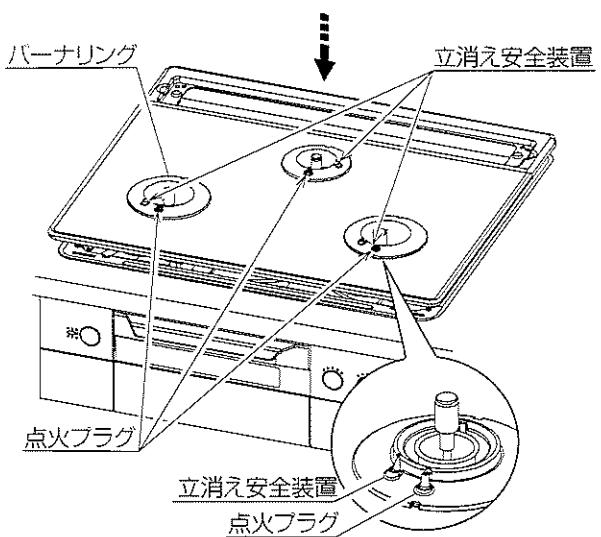
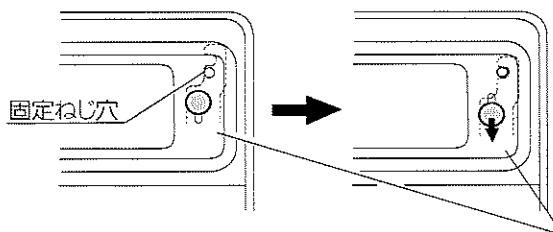
■点火プラグや立消え安全装置に乗り上げ、傷つけたりしないよう注意して取り付ける
バーナを傷つけたり、点火プラグを曲げたりしないよう注意してください。

■トッププレートの取り扱いには十分に注意する
トッププレートの変形、破損の原因になります。

禁止

■バーナリングのリング側をたてかけたり、床などに置いたりしない
バーナリングに傷がつきます。

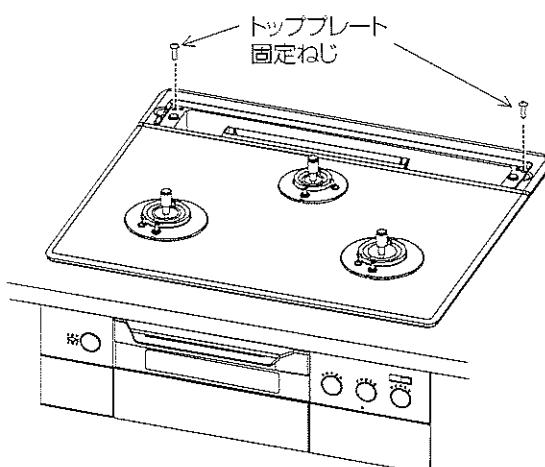
④トッププレートの手前をすこし押さえながらスライドピンを同梱のスライド軸ハンドルを使用し、トッププレート固定ねじ穴が本体側ねじ穴と重なる位置まで、手前にスライドさせてください。
（右図参照）
トッププレートのツメが動き、固定します。

トッププレートの固定ねじ穴が本体側ねじ穴と重なる位置までスライドピンを手前にスライドさせる

※スライドピンが動きにくい場合、トッププレートの手前を押さえると動きやすくなります。

⑤11ページ ■開梱・機器の取り出しでトッププレートの裏面から取り外した、トッププレート固定ねじ（2本）を使用して、トッププレートを固定してください。

⚠注意

必ず行う

■トッププレートが正しく固定され、トッププレートに浮きがないことを確認する
トッププレートに浮きがあると、ワークトップから内部に水が浸入することがあります。

■ 部品の取り付け

●ごとく、バーナキャップ・排気口ちり受け・排気口カバーは下図のように正しく取り付けてください。
※詳しくは、取扱説明書を参照してください。

⚠ 注意

禁止

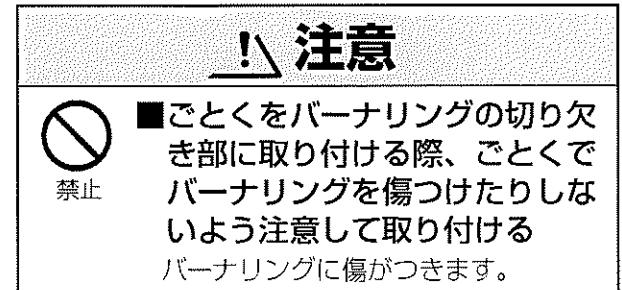
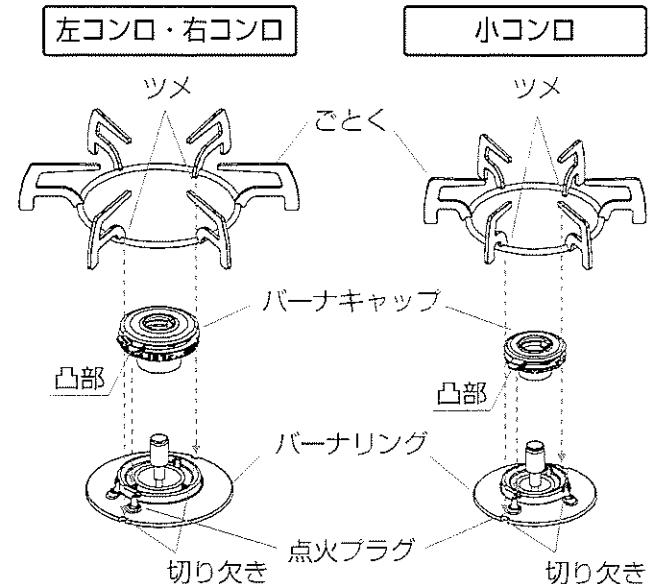
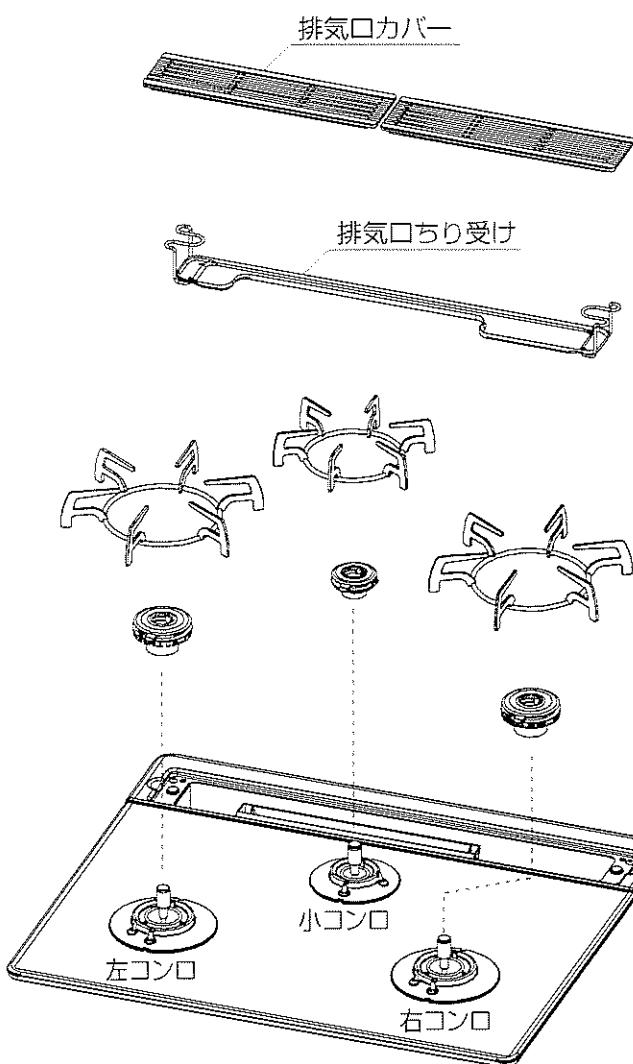
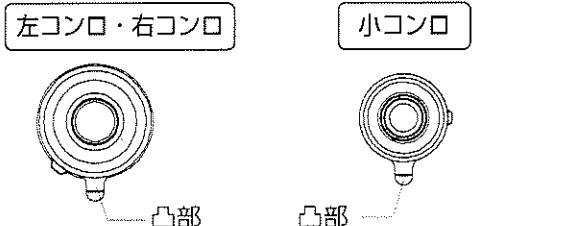
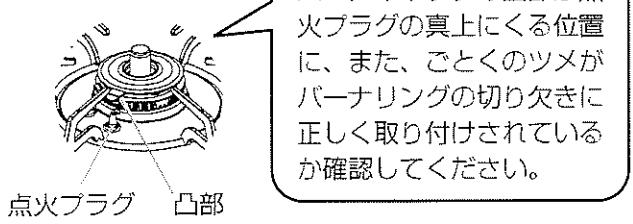
■ごとくをバーナリングの切り欠き部に取り付ける際、ごとくでバーナリングを傷つけたりしないよう注意して取り付ける

バーナリングに傷がつきます。

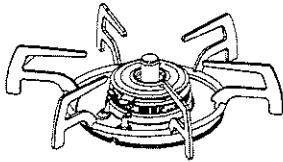
取り付け後の拡大図

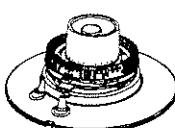
バーナキャップの凸部が点火プラグの真上にくる位置に、また、ごとくのツメがバーナリングの切り欠きに正しく取り付けされているか確認してください。

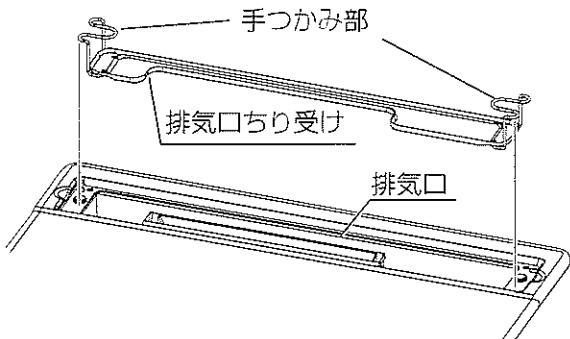
⚠注意

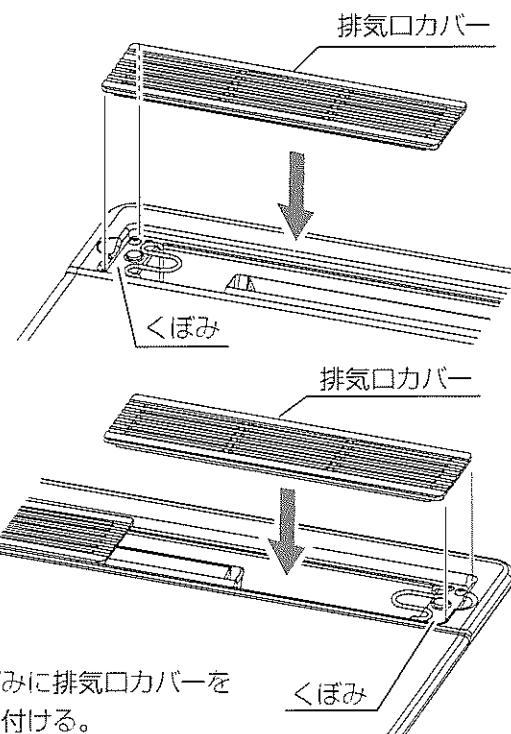
禁止

■ごとくは誤った取り付けで使用しない

なべなどが不安定になり、傾いたり、倒れたりするおそれがあります。

禁止

■バーナキャップは誤った取り付けをしたまま、使用しない

点火不良になったり、不完全燃焼・一酸化炭素中毒になったりするおそれがあります。
また、機器の中に炎がもぐりこんで焼損する原因になります。

●排気口ちり受けの取り付け

排気口ちり受けの手つかみ部が排気口の端面に乗るように取り付けてください。
※ビルトインコンロとコンビネーションレンジ等を組み合わせて設置する場合は、取り付けることができません。

●排気口カバーの取り付け

排気口カバーは左右共通です。
2つの排気口カバーを、トッププレート後方のくぼみに取り付けてください。
※取り付け後、排気口カバーに傾きがないことを確認してください。

■ 乾電池の取り付け

(アルカリ乾電池 単1形 1.5V 2個)

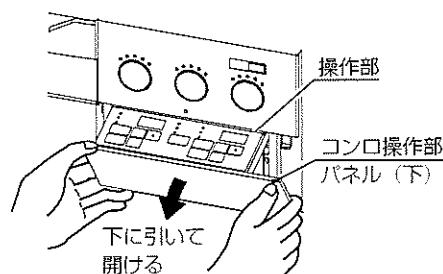
下記に従い、乾電池を取り付けてください。

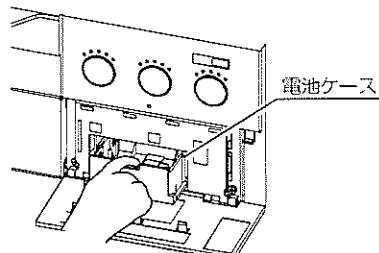
おねがい

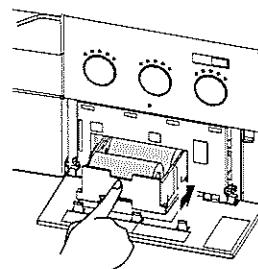
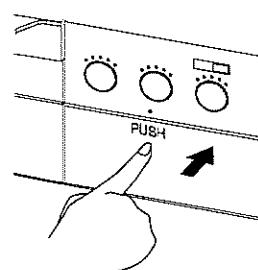
- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふきとってきれいにしてください。
- 乾電池の挿入方向を間違えないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、または違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。

①コンロ操作部の「PHSH」付近を指で押してください。押し込んだ指を戻すと操作部が出てきます。

②コンロ操作部パネル(下)の上部を下に引いて開けてください。操作部とコンロ操作部パネル(下)が分かれます。

③操作部を本体へ押し込んでください。
電池ケースが引き出せるようになります。

④電池ケースを止まるところまで、ゆっくりと引き出してください。

⑤乾電池2個を下図のように ⊖ ⊕ の向きを確認して奥まで確実にはめ込んでください。
電池ケースの ⊖ ⊕マークを確認してください。

⑥電池ケースを奥までしっかり押し込み、本体に収納してください。

⑦コンロパネル(下)を本体へ押し込み、操作部にコンロパネル(下)を取り付けてください。

⑧コンロパネルの「PUSH」付近を指でゆっくり押し、コンロパネルを本体に収納してください。

7 コンビネーションレンジ等との組み合わせ設置

●下記の作業は、コンビネーションレンジ等と組み合わせしない場合は不要です。

⚠注意

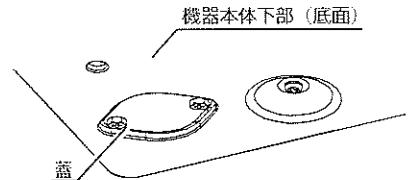
必ず行う

●本機器と組み合わせて使用するコンビネーションレンジ・コンベクションオーブンは下記の品名に限ります。
設置する機器に使用するガスの種類（ガスグループ）が供給ガスと適合していることを銘板で確認してください。

品名　・PCR-500E,PCR-500ET,PCR-500ESK,PCR-500E-SV,PCR-500ESVT
　　　・PCR-500C,PCR-500CT,PCR-500CSK,PCR-500ESK-SV
　　　・PCR-510E,PCR-510ESK

必ず行う

■機器本体下部（底面）のガス接続口蓋が確実にはまっていることと、蓋の固定ねじがゆるんでいないかを確認する

ガス漏れの原因になります。

■あとからコンビネーションレンジ等を設置する場合は、新しくガス接続口蓋とOリングを取り付ける

部品のお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルにご連絡ください。

●コンビネーションレンジ等の設置工事説明書に従いコンビネーションレンジ等を設置してください。
●コンビネーションレンジ等と組み合わせて設置する場合、コンビネーションレンジ等に同梱されている「設置工事説明書」に従い、トッププレートから後面の可燃物との距離を確認し、ビルトインコンロとコンビネーションレンジ等の両方が満足する距離を確保して設置してください。
●ビルトインコンロは出荷時、コンロ単品で設置する仕様になっておりますので、コンビネーションレンジ等と組み合わせる仕様に変更する必要があります。

■ 開梱・機器の取り出し

●11ページから12ページの（6 機器の設置）■開梱・機器の取り出し、■グリル部品の取り外しに従って作業を行ってください。

■ コンロ設置前の準備

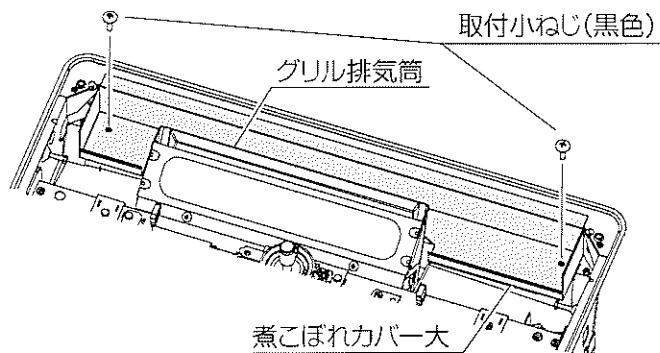
コンビネーションレンジ等側の作業

●コンビネーションレンジ等とビルトインコンロを設置するため、コンビネーションレンジ等の設置工事説明書に従い、コンビネーションレンジ等をキャビネットに組み込んでください。

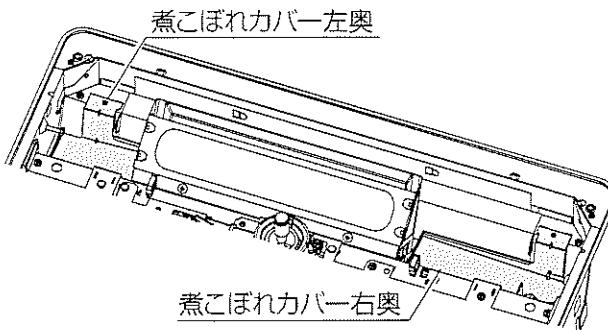
ビルトインコンロ側の作業

①煮こぼれカバー大の取り外し

●グリル排気筒の後側についている、煮こぼれカバー大の取付小ねじ（黒色）2本を外し、煮こぼれカバー大を取り外してください。

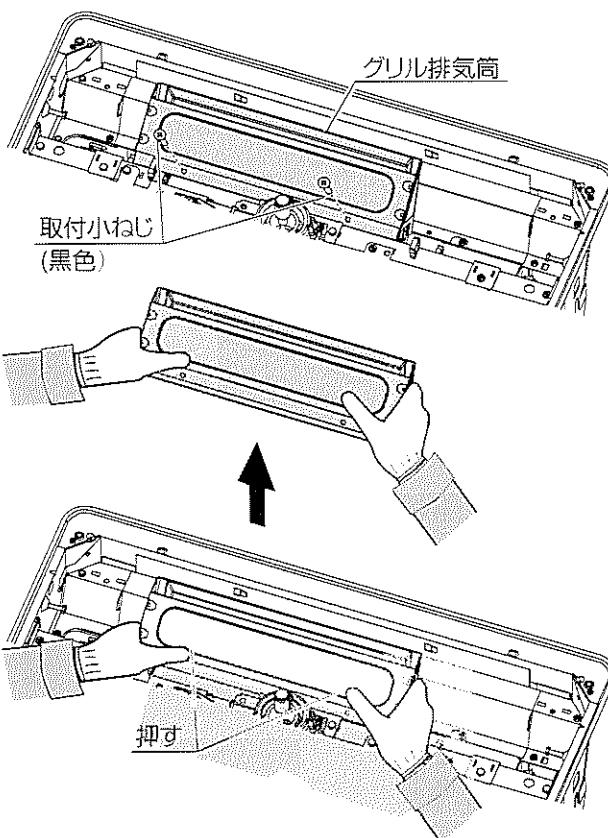
※取り外した煮こぼれカバー大は、再使用しないため、処分してください。
取り外した取付小ねじ（黒色）は、32ページの■コンロ部品の取り付けで、煮こぼれカバー左奥と右奥を固定するため、再度使用します。

②煮こぼれカバー左奥・右奥の取り外し

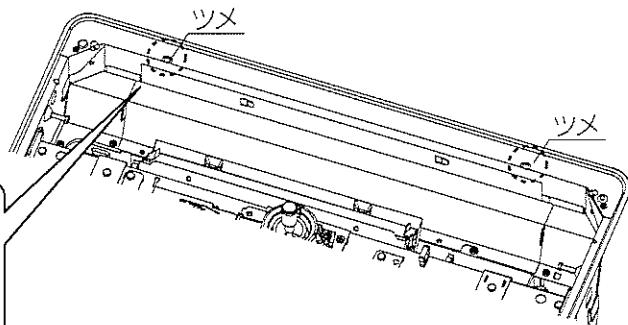
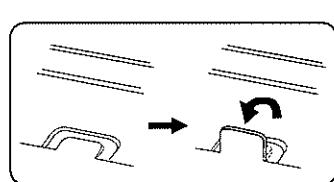
●煮こぼれカバー大の下側についている、煮こぼれカバー左奥と右奥を取り外してください。

※取り外した煮こぼれカバー左奥と右奥は、32ページの■コンロ部品の取り付けで、再度取り付けます。

③グリル排気筒の取り外し

●グリル排気筒の取付小ねじ(黒色)2本を外してください。

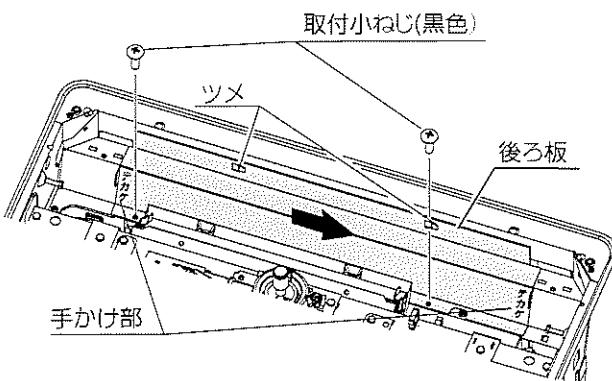
●グリル排気筒を固定するための突起が、器具側にあるため、グリル排気筒中央の部分を押しながら、取り外してください。

※取り外したグリル排気筒と取付小ねじ(黒色)は、32ページの■コンロ部品の取り付けで、再度取り付けます。

④ツメをおこす

●コンビネーションレンジ等の排気筒を取り付けるため、機器背面からペンチなどを用いて、ツメ（左右2か所）を押して、おこしてください。

⑤後ろ板の取り外し

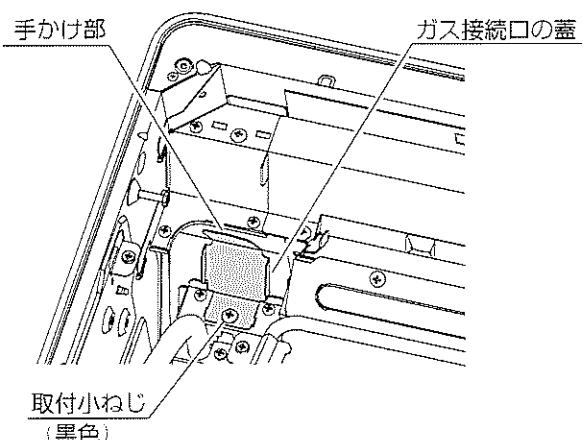
●後ろ板の取付小ねじ（黒色）２本を外してください。

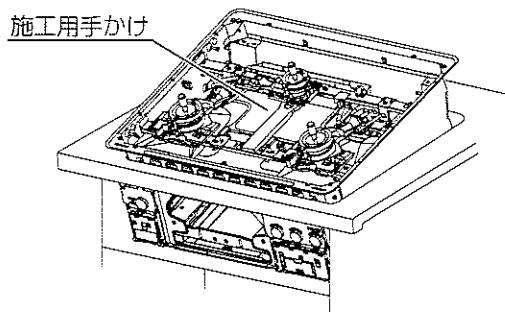
●後ろ板を固定するためのツメが、器具側にあるため、後ろ板の手かけ部を持ちながら右にずらして取り外してください。

※取り外した取付小ねじ（黒色）と後ろ板は、再使用しないため、処分してください。

⑥コンロ後部ガス接続口の蓋の取り外し

●コンロ後部ガス接続口の蓋の取付小ねじ（黒色）１本を外してください。

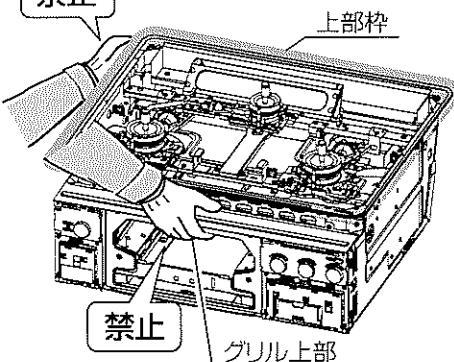
●コンロ後部ガス接続口の蓋の手かけ部を持って取り外してください。

※取り外した後部ガス接続口の蓋と取付小ねじ（黒色）は、再使用しないため、処分してください。

■ コンロの設置

●13ページの（6 機器の設置）■コンロの設置に従い、コンロ本体を設置してください。

⚠注意

■機器の組み込みは施工用手かけを持って行う

■機器の組み込みは施工用手かけ以外を持たない

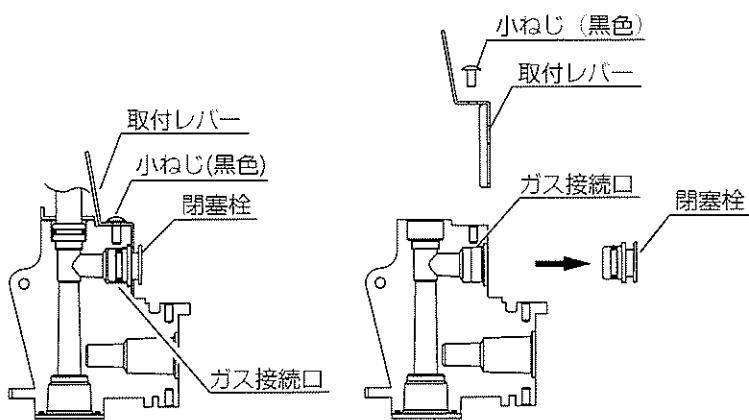
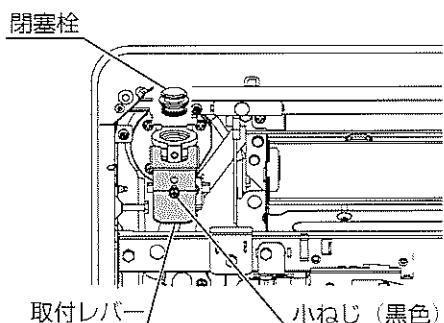
施工用手かけを持たずに、グリル上部・上部枠・ガス配管・バーナなどを持って組み込まないでください。
トッププレートの浮きや、キャビネット内への水漏れ、燃焼不良などの原因になります。

■ コンビネーションレンジ等とのガス接続

①ガス接続口閉塞栓の取り外し

●取付レバーの小ねじ（黒色）1本を取り外し、取付レバーを取り外してください。

●閉塞栓を後方に引き抜き、取り外してください。

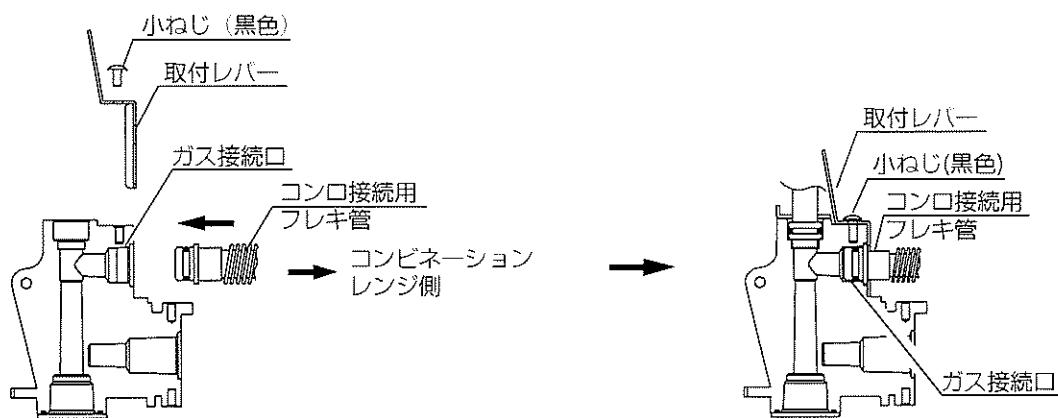
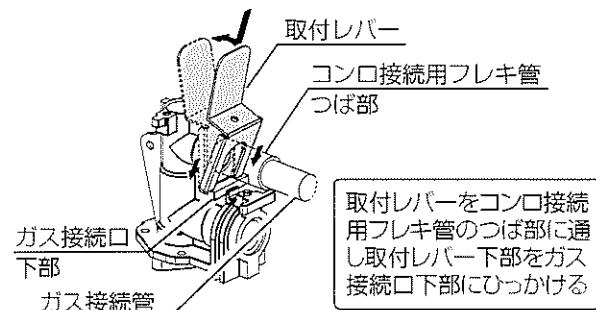
※取り外した閉塞栓は、再使用しないため、処分してください。

※取付レバーと小ねじ(黒色)は、②で再度取り付けします。

②コンロ接続用フレキ管の取り付け

●コンビネーションレンジ等のコンロ接続用フレキ管をビニール袋から外し、ガス接続口に差し込みます。

●取付レバーの下部を接続口下部にひっかけ、レバーを手前に引きコンロ接続用フレキ管を奥まで確実に差し込みます。

（注）コンロ接続用フレキ管から外したビニール袋の中に予備のＯリングが入っています。

●①ガス接続口閉塞栓の取り外しで外した小ねじ（黒色）１本で取付レバーを固定し、コンロ接続用フレキ管が抜けないように確実に固定します。

■ コンビネーションレンジ等排気筒の取り付け

①モール・グリルの設置

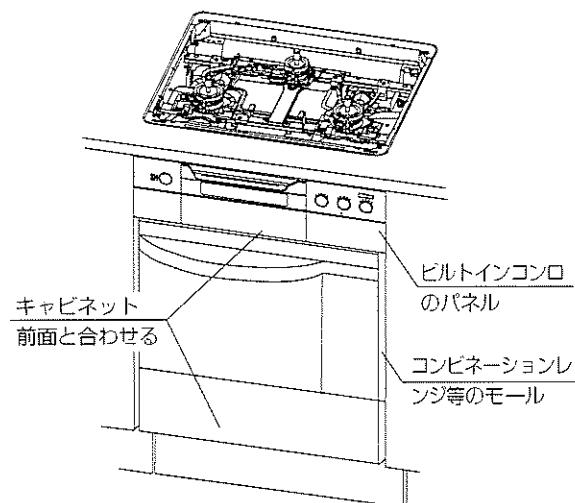
●14ページから17ページの（6 機器の設置）■モールの取り付け、■パネルの取り付け・グリルサイドカバーの取り付け、■グリル部品の取り付けに従って作業を行ってください。

●キャビネットの扉前面とコンビネーションレンジ等のモールおよびビルトインコンロのパネル前面が同一面となっていることを確認してください。

⚠警告

■コンビネーションレンジ等の前面とビルトインコンロ前面が同一面になっているか確認する

コンビネーションレンジ排気筒の位置がずれて、コンビネーションレンジ等の排気漏れの原因になります。

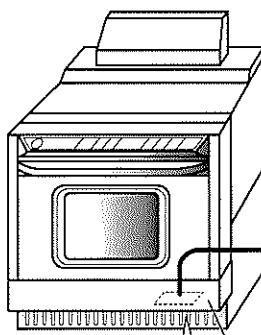
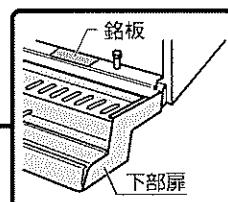
⚠ 注意

必ず行う

コンビネーションレンジ等の銘板の器具名を確認する

コンビネーションレンジ等の器具名末尾によって、使用する排気筒の部材と取付方法が異なるため、銘板の器具名にて確認ください。
なお、排気筒の部材はコンビネーションレンジ等に同梱されています。
※器具名がPCR-○○○-2の場合、同梱の排気筒部材では本機器との取付ができませんので、オーブン排気筒部材セット（別売部品）が必要です。

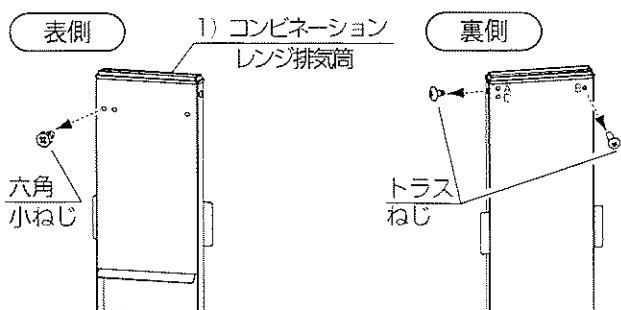
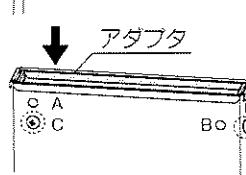
必ず行う

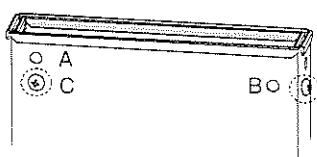
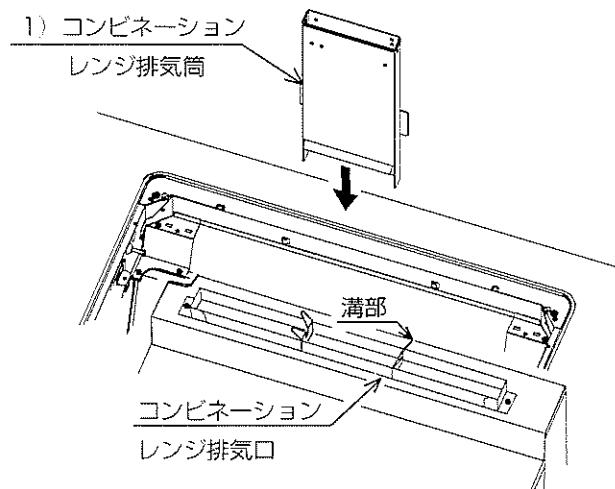
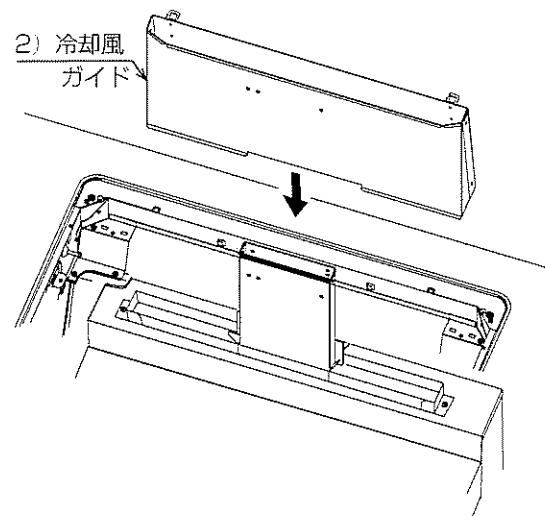
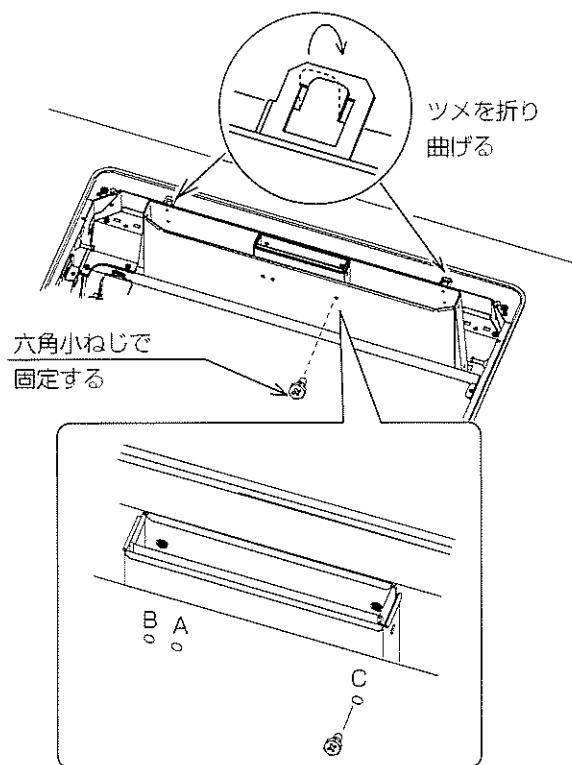
キッチンの高さが870mmから910mmまでの場合はオーブン高さ調節部材を使用する

オーブン高さ調節部材を使用する場合は取付方法が異なりますのでオーブン高さ調節部材の取付説明書を参照してください。

②コンビネーションレンジ排気筒の取り付け

◎器具名がPCR-○○○-3 の場合

コンビネーションレンジ等に同梱の排気筒部材
1)コンビネーションレンジ排気筒
2)冷却風ガイド

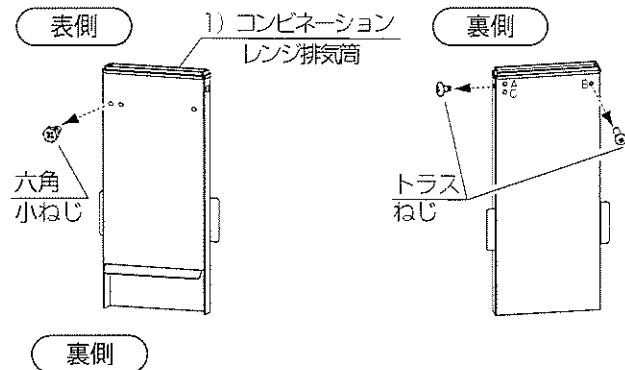
- コンビネーションレンジ排気筒の表側に付いている六角小ねじを取り外してください。
- コンビネーションレンジ排気筒を裏側に向けて、裏側の右上（穴位置B）と左側面のトラスねじを取り外してください。
- コンビネーションレンジ排気筒内側のアダプタを、排気筒の奥へスライドさせ裏側左下（穴位置C）と右側面の下穴に取り外したトラスねじを使用し、固定してください。

⚠ 注意

必ず行う

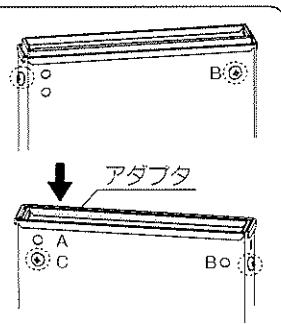
コンビネーションレンジ等がすでに他のビルトインコンロと組み合わせて設置されていた場合、コンビネーションレンジ排気筒のアダプタの調節が右記となっているか確認してください。異なっている場合は、調節を行ってください。

●コンビネーションレンジ排気筒をコンビネーションレンジ排気口の溝部に止まるまでしっかり差し込んでください。

●冷却風ガイドをコンビネーションレンジ排気口に差し込んでください。

●コンロ側のツメに差し込み、ツメを折り曲げてください。
●冷却風ガイドとコンビネーションレンジ排気筒を冷却風ガイドの右穴（穴位置C）に六角小ねじで固定してください。
※穴位置が合わない場合、コンビネーションレンジ排気筒を少し持ち上げて、Cの位置に穴を合わせて固定してください。

◎器具名がPCR-○○○-2 の場合

※PCR-○○○-2の場合、同梱の排気筒部材では本機器との接続ができませんので、オーブン排気筒部材セット(別売部品)が必要です。
オーブン排気筒部材セット
1)コンビネーションレンジ排気筒
2)冷却風ガイド

●コンビネーションレンジ排気筒の表側に付いている六角小ねじを取り外してください。

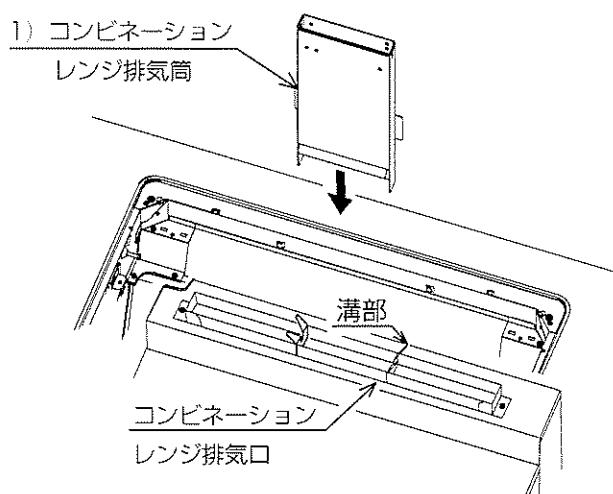
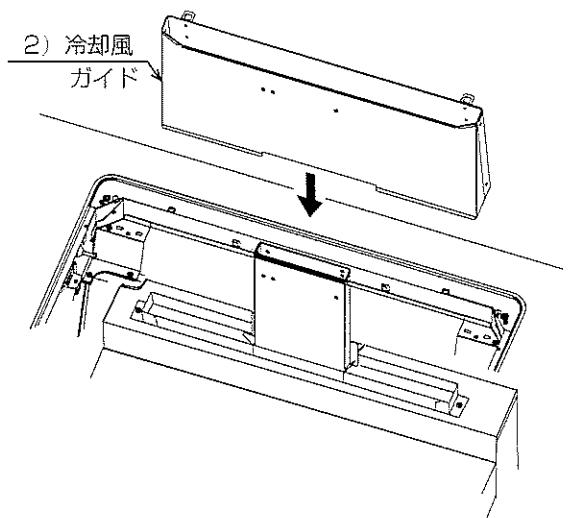
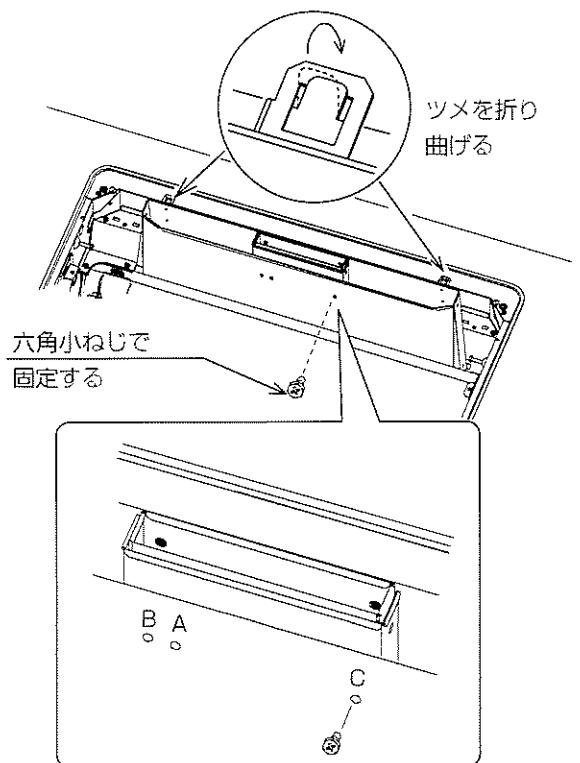
●コンビネーションレンジ排気筒を裏側に向けて、裏側の右上（穴位置B）と左側面のトラスねじを取り外してください。

●コンビネーションレンジ排気筒内側のアダプタを、排気筒の奥へスライドさせ裏側左下（穴位置C）と右側面の穴に取り外したトラスねじを使用し、固定してください。

裏側

⚠注意

必ず行う

コンビネーションレンジ等がすでに他のビルトインコンロと組み合わせて設置されていた場合、取り付いていた排気筒部材を取り外し、オーブン排気筒部材セット（別売部品）を使用し、上記の手順に従って取り付けてください。

品名	図番	価格（税別）
オーブン排気筒部材セット	38-99696-00	10,000円

●コンビネーションレンジ排気筒をコンビネーションレンジ排気口の溝部に止まるまでしっかり差し込んでください。

●冷却風ガイドをコンビネーションレンジ排気口に差し込んでください。

●コンロ側のツメに差し込み、ツメを折り曲げてください。
●冷却風ガイドとコンビネーションレンジ排気筒を冷却風ガイドの右穴（穴位置C）に六角小ねじで固定してください。
※穴位置が合わない場合、コンビネーションレンジ排気筒を少し持ち上げて、Cの位置に穴を合わせて固定してください。

●器具名がPCR-○○○-3･○○○-2以外の場合

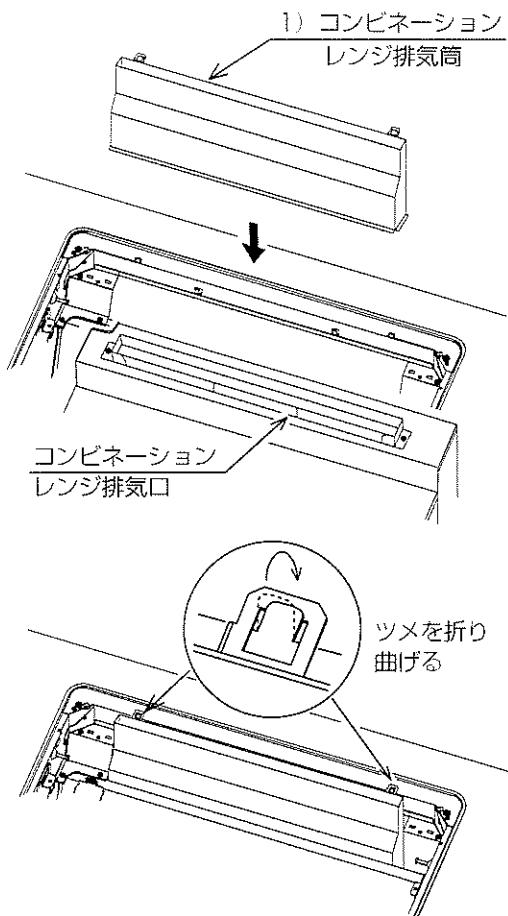
コンビネーションレンジ等に同梱の排気筒部材
1)コンビネーションレンジ排気筒

●コンビネーションレンジ排気筒をコンビネーションレンジ排気口にしっかり差し込んでください。

●コンロ側のツメに差し込み、ペンチなどを用いて、ツメを折り曲げてください。

⚠注意

必ず行う

コンビネーションレンジ等がすでに他のビルトインコンロと組み合わせて設置されていた場合、取り付いていた排気筒を取り外し、上記の手順に従って再度取り付けてください。

■ コンロ部品の取り付け

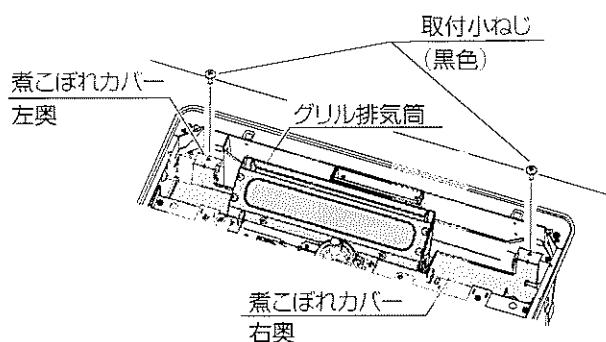
●コンロ部品の取り付けは、28ページの②コンビネーションレンジ排気筒の取り付けの機種にかかわらず、同一の取り付けです。

①煮こぼれカバー左奥・右奥とグリル排気筒の取り付け

●24ページの②と③で、機器の設置時に取り外した煮こぼれカバー右奥と煮こぼれカバー左奥とグリル排気筒を①で取り外した取付小ねじ（黒色）で取り付けてください。

②トッププレートと各部品の取り付け

●18ページから22ページの（6 機器の設置）
■トッププレートの取り付け、■部品の取り付け、■乾電池の取り付けに従って作業を行ってください。

※21ページの■部品の取り付けの●排気口ちり受けの取り付けは、コンビネーションレンジと組み合わせて設置する場合は、取り付けることができません。

8　設置工事後の点検確認

●設置工事が終わりましたら、下表をチェックしてください。

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
機器の適合	銘板のガスの種類は、使用するガスの種類と適合していますか。	1	
機器および その周辺	可燃物との離隔距離および火災予防上の措置は十分ですか。	1 4	
	保守・管理上の空間は確保されていますか。	4	
	コンビネーションレンジ等とセットで設置する場合、コンビネーションレンジ等の設置工事説明書の離隔距離を確認しましたか。	7	
	機器は水平・安定に設置されていますか。	4	
	機器は堅固に取り付けられていますか。	6	
	十分換気できる場所に設置されていますか。	4	
キャビネット	キャビネットに仕切板がありますか。（機器後方に穴があいていませんか）	1	
ガス配管工事	配管は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	5	
ラベル貼付	接続具の設置者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けていますか。		
付属部品	部品に不足がなく、機器に正しく取り付けられていますか。	3 6	
その他	グリル内に梱包部材等が残っていませんか。	6	
	グリル扉表面とパネルに貼り付けている保護シートのはがし忘れはありませんか。	6	

9　試運転

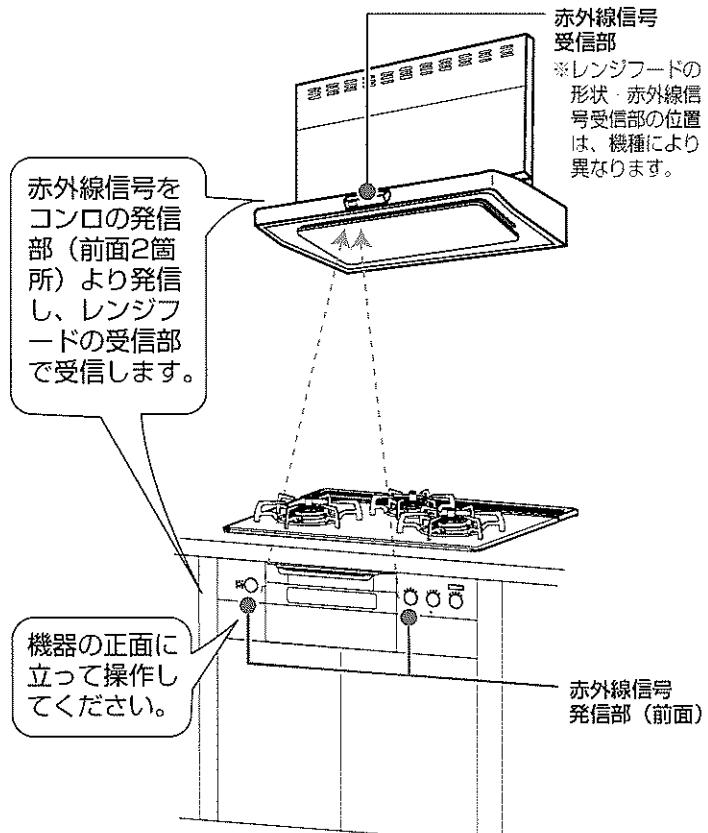
①試点火
正しく設置されていることを確認してから機器のガス栓（ねじガス栓）を開き取扱説明書に基づき、点火および作動の確認を行ってください。
※試運転終了後、長期使用しない場合は、機器のガス栓（ねじガス栓）を閉め、乾電池を取り外してください。

TAF900WVシリーズの製品を工事される方へおねがい
本機器コンロ部のごとくやバーナキャップ上部はステンレス製になっています。
長時間点火していると変色するおそれがあります。
長時間の試点火はご遠慮いただくようお願い致します。

※下記の点をお客さまへお伝えいただきますようお願い致します。
◎ステンレス製のごとく、バーナキャップ上部は点火により変色しますが、性能上問題ありません。
◎ステンレス製のごとく、バーナキャップ上部のお手入れは取扱説明書をご覧ください。

②レンジフード連動機能の動作確認
本機器は、コンロまたはグリルの点火や消火に連動してレンジフードを自動で運転または、停止する機能を搭載しています。
コンロまたはグリルの点火・消火操作をし、レンジフードが連動して運転を開始または停止（一定時間後）するかの確認を行ってください。
※ガスの供給がない場合でも、点火・消火操作によってレンジフードの動作確認が可能です。
※指定外のレンジフードでは連動しません。
対応しているレンジフードとの組み合わせが必要です。
また、指定外のレンジフードを使用する場合でもビルトインコンロは問題なく使用することができます。
尚、ビルトインコンロ側でレンジフード連動機能をOFFにしたい場合は、ビルトインコンロの取扱説明書を参照してください。

⚠注意

●以下のような場合には、レンジフードが連動しにくいことがあります。
・手や頭など体の一部がレンジフードの赤外線信号受信部付近にあり、赤外線信号をさえぎっている。
・レンジフードの赤外線信号受信部に太陽光が直接当たっている。
・ビルトインコンロ付近で、テレビやエアコンなどのリモコンを同時に操作している。
●レンジフードの停止は、消火操作から一定時間後に自動停止しますが、レンジフード側の設定が常時換気などの場合は、レンジフード側の設定に従います。
消火操作を行っても、他のコンロやグリルを使用中は自動停止しません。すべての操作ボタンが消火状態になると自動停止します。

③試運転、レンジフード連動機能の動作確認が終わりましたら、すぐご使用になる場合を除き、ガス栓を閉めておいてください。
以上のことを点検しても、なお異常のある時や、おわかりにならない時は、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルにご連絡ください。電話番号は取扱説明書を参照してください。

10　お客さまへの取扱説明

●お客さまへの説明

①必ず取扱説明書によって機器の取り扱い方法を説明してください。

②必ず取扱説明書の裏表紙の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明してください。
また、取扱説明書・設置工事説明書と共にお客さまにお渡しして、保管のお願いをしてください。